

令和7年度 豊野中学校校舎トイレ改修工事

設計図

図面リスト											
〔意匠図〕											
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-01	特記仕様書(改修その1)	Non Scale	A-34	改修前 普通教室棟(東側) 矩計図	1/40	A-67	改修前・後 管理特別教室棟 車いす対応トイレ キープラン図	1/40	E-25	改修前・後 管理特別教室棟 2階トイレ平面詳細図 コンセント設備	1/40
A-02	特記仕様書(改修その2)	Non Scale	A-35	改修後 普通教室棟(東側) 矩計図	1/40	A-68	改修前・後 管理特別教室棟 車いす対応トイレ 建具表	1/50	E-26	改修前・後 管理特別教室棟 3階トイレ平面詳細図 コンセント設備	1/40
A-03	特記仕様書(改修その3)	Non Scale	A-36	改修前・後 普通教室棟(東側) 1階~4階トイレ天井伏図	1/40	A-69	受水槽廻り詳細図	1/30	E-27	改修前・後 管理特別教室棟 車いす対応トイレ平面詳細図 電灯ｺﾝﾚｯﾄ設備	1/40
A-04	特記仕様書(改修その4)	Non Scale	A-37	改修前・後 普通教室棟(東側) 1階~4階女子トイレ展開図	1/50	A-70	部分詳細図 1	1/10・1/20	E-28	改修前・後 管理特別教室棟 1階平面図 トイレ幹線設備	1/150
A-05	特記仕様書(改修その5)	Non Scale	A-38	改修前・後 普通教室棟(東側) 1階~4階男子トイレ展開図	1/50	A-71	部分詳細図 2	1/10・1/20	E-29	改修前・後 受水槽廻り詳細図 電気設備	1/30
A-06	特記仕様書(改修その6)	Non Scale	A-39	改修前・後 普通教室棟(東側) 1階~4階階トイレキープラン図	1/40	A-72	部分詳細図 3	1/10・1/20	〔機械設備図〕		
A-07	案内図・配置図	1/500	A-40	改修前・後 普通教室棟(東側) 建具表 1	1/50	A-73	部分詳細図 4	1/10・1/20	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	Non Scale
A-08	仮設計画図(参考図)	1/250	A-41	改修前・後 普通教室棟(東側) 建具表 2	1/50				M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	Non Scale
A-09	仮設トイレ計画図(参考図)	1/30・1/100	A-42	改修前・後 管理特別教室棟 1階平面図	1/150	〔電気設備図〕			M-03	配置図	1/500
A-10	アスベスト分析結果・レベルー覧	1/60	A-43	改修前・後 管理特別教室棟 2階平面図	1/150	E-01	電気設備特記仕様書(1)	Non Scale	M-04	改修前 器具表・機器表	Non Scale
A-11	改修前・後 普通教室棟 1階平面図	1/150	A-44	改修前・後 管理特別教室棟 3階平面図	1/150	E-02	電気設備特記仕様書(2)	Non Scale	M-05	改修後 器具表・機器表	Non Scale
A-12	改修前・後 普通教室棟 2階平面図	1/150	A-45	改修前・後 管理特別教室棟 トイレ仕上げ表	Non Scale	E-03	配置図	1/500	M-06	改修前・後 系統図表	Non Scale
A-13	改修前・後 普通教室棟 3階平面図	1/150	A-46	改修前・後 管理特別教室棟 1階トイレ平面詳細図	1/40	E-04	改修後 普通教室棟・管理特別教室 分電盤結線図・照明器具姿図	Non Scale	M-07	改修前・後 普通教室棟 1階平面図	1/150
A-14	改修前・後 普通教室棟 4階平面図	1/150	A-47	改修前・後 管理特別教室棟 2階トイレ平面詳細図	1/40	E-05	改修前・後 普通教室棟(西側) 1階トイレ平面詳細図 電灯設備	1/40	M-08	改修前・後 普通教室棟 2階平面図	1/150
A-15	改修前・後 普通教室棟(西側) トイレ仕上げ表	Non Scale	A-48	改修前・後 管理特別教室棟 3階トイレ平面詳細図	1/40	E-06	改修前・後 普通教室棟(西側) 2階トイレ平面詳細図 電灯設備	1/40	M-09	改修前・後 普通教室棟 3階平面図	1/150
A-16	改修前・後 普通教室棟(西側) 1階トイレ平面詳細図	1/40	A-49	改修前 管理特別教室棟 矩計図	1/40	E-07	改修前・後 普通教室棟(西側) 3階トイレ平面詳細図 電灯設備	1/40	M-10	改修前・後 普通教室棟 4階平面図	1/150
A-17	改修前・後 普通教室棟(西側) 2階トイレ平面詳細図	1/40	A-50	改修後 管理特別教室棟 矩計図	1/40	E-08	改修前・後 普通教室棟(西側) 4階トイレ平面詳細図 電灯設備	1/40	M-11	改修前・後 普通教室棟 R階・PHR階平面図	1/150
A-18	改修前・後 普通教室棟(西側) 3階トイレ平面詳細図	1/40	A-51	改修前・後 管理特別教室棟 1階トイレ天井伏図	1/40	E-09	改修前・後 普通教室棟(西側) 1階トイレ平面詳細図 コンセント設備	1/40	M-12	改修前・後 普通教室棟(西側) 1階トイレ平面詳細図	1/40
A-19	改修前・後 普通教室棟(西側) 4階トイレ平面詳細図	1/40	A-52	改修前・後 管理特別教室棟 2階トイレ天井伏図	1/40	E-10	改修前・後 普通教室棟(西側) 2階トイレ平面詳細図 コンセント設備	1/40	M-13	改修前・後 普通教室棟(西側) 2階トイレ平面詳細図	1/40
A-20	改修前 普通教室棟(西側) 矩計図	1/40	A-53	改修前・後 管理特別教室棟 3階トイレ天井伏図	1/40	E-11	改修前・後 普通教室棟(西側) 3階トイレ平面詳細図 コンセント設備	1/40	M-14	改修前・後 普通教室棟(西側) 3階トイレ平面詳細図	1/40
A-21	改修後 普通教室棟(西側) 矩計図	1/40	A-54	改修前・後 管理特別教室棟 1階女子トイレ展開図	1/50	E-12	改修前・後 普通教室棟(西側) 4階トイレ平面詳細図 コンセント設備	1/40	M-15	改修前・後 普通教室棟(西側) 4階トイレ平面詳細図	1/40
A-22	改修前・後 普通教室棟(西側) 1階~3階トイレ天井伏図	1/40	A-55	改修前・後 管理特別教室棟 1階男子トイレ展開図	1/50	E-13	改修前・後 普通教室棟(東側) 1階トイレ平面詳細図 電灯設備	1/40	M-16	改修前・後 普通教室棟(東側) 1階トイレ平面詳細図	1/40
A-23	改修前・後 普通教室棟(西側) 4階トイレ天井伏図	1/40	A-56	改修前・後 管理特別教室棟 2階・3階女子トイレ展開図	1/50	E-14	改修前・後 普通教室棟(西側) 2階トイレ平面詳細図 電灯設備	1/40	M-17	改修前・後 普通教室棟(東側) 2階~4階トイレ平面詳細図	1/40
A-24	改修前・後 普通教室棟(西側) 1階・3階男子トイレ展開図	1/50	A-57	改修前・後 管理特別教室棟 2階・3階男子トイレ展開図	1/50	E-15	改修前・後 普通教室棟(東側) 1階トイレ平面詳細図 コンセント設備	1/40	M-18	改修前・後 管理特別教室棟 1階平面図	1/150
A-25	改修前・後 普通教室棟(西側) 2階・4階男子トイレ展開図	1/50	A-58	改修前・後 管理特別教室棟 1階トイレキープラン図	1/40	E-16	改修前・後 普通教室棟(東側) 1階~4階トイレ平面詳細図 コンセント設備	1/40	M-19	改修前・後 管理特別教室棟 2階平面図	1/150
A-26	改修前・後 普通教室棟(西側) 1階~4階女子トイレ展開図	1/50	A-59	改修前・後 管理特別教室棟 2階・3階トイレキープラン図	1/40	E-17	改修前・後 普通教室棟 1階平面図 トイレ幹線設備	1/150	M-20	改修前・後 管理特別教室棟 3階平面図	1/150
A-27	改修前・後 普通教室棟(西側) 1階・3階トイレキープラン図	1/40	A-60	改修前・後 管理特別教室棟 建具表 1	1/50	E-18	改修前・後 普通教室棟 2階平面図 トイレ幹線設備	1/150	M-21	改修前・後 管理特別教室棟 1階トイレ平面詳細図	1/40
A-28	改修前・後 普通教室棟(西側) 2階・4階トイレキープラン図	1/40	A-61	改修前・後 管理特別教室棟 建具表 2	1/50	E-19	改修前・後 普通教室棟 3階平面図 トイレ幹線設備	1/150	M-22	改修前・後 管理特別教室棟 2階トイレ平面詳細図	1/40
A-29	改修前・後 普通教室棟(西側) 建具表 1	1/50	A-62	改修前・後 管理特別教室棟 建具表 3	1/50	E-20	改修前・後 普通教室棟 4階平面図 トイレ幹線設備	1/150	M-23	改修前・後 管理特別教室棟 3階トイレ平面詳細図	1/40
A-30	改修前・後 普通教室棟(西側) 建具表 2	1/50	A-63	改修前・後 管理特別教室棟 車いす対応トイレ平面詳細図	1/40	E-21	改修前・後 管理特別教室棟 1階トイレ平面詳細図 電灯設備	1/40	M-24	改修前・後 管理特別教室棟 車いす対応トイレ平面詳細図	1/40
A-31	改修前・後 普通教室棟(東側) トイレ仕上げ表	Non Scale	A-64	改修前・後 管理特別教室棟 車いす対応トイレ 矩形図	1/40	E-22	改修前・後 管理特別教室棟 2階トイレ平面詳細図 電灯設備	1/40	M-25	受水槽廻り詳細図	1/30
A-32	改修前・後 普通教室棟(東側) 1階トイレ平面詳細図	1/40	A-65	改修前・後 管理特別教室棟 車いす対応トイレ ・第二倉庫 天井伏図	1/40	E-23	改修前・後 管理特別教室棟 3階トイレ平面詳細図 電灯設備	1/40	M-26	改修前 管理特別教室棟 仮設計画図(参考図)	1/150
A-33	改修前・後 普通教室棟(東側) 2階~4階トイレ平面詳細図	1/40	A-66	改修前・後 管理特別教室棟 車いす対応トイレ ・第二倉庫 展開図	1/50	E-24	改修前・後 管理特別教室棟 1階トイレ平面詳細図 コンセント設備	1/40	M-27	受水槽(参考図)	1/30

※この図面はA3版印刷を標準とする。
(図面サイズ:A1版、A3版は50%縮小)

工事名	豊野中学校校舎トイレ改修工事
-----	----------------

特記仕様書

- #### I 工事概要
1. 工事場所 春日部市銚子口130番地
 2. 敷地面積 30,527㎡
 3. 工事種目 (建物概要) 普通教室棟・RC造・4階(2か所)
工事対象面積 384.0㎡ (56.00㎡+40.00㎡) × 4
(延べ面積 3,715.0㎡)
管理特別教室棟・RC造・3階(1か所)
工事対象面積 126.2㎡ (42.075㎡) × 3
(延べ面積 2,934.0㎡)
管理特別教室棟・RC造・2階(1か所)
工事対象面積 31.5㎡
 4. 工事内容
※校舎トイレの全面リニューアル改修を行う。
①普通教室棟トイレ(8か所)
・内装改修(乾式化・バリアフリー化を含む)・建具改修・トイレブース改修
・照明及び換気扇等の入感センサー式への更新
・洋便器への改修、給排水管の更新など
②管理特別教室棟トイレ(3か所)・車いす対応トイレ(1か所)
・内装改修(乾式化・バリアフリー化を含む)・建具改修・トイレブース改修
・照明及び換気扇等の入感センサー式への更新
・洋便器への改修、給排水管の更新など
※受水槽更新を行う。
※夏季休業期間終了時を旨とし、工事対象範囲のうち、
少なくとも普通教室棟(西側)トイレは使用可能な状態とすること。
※管理特別教室棟・管理特別教室棟車いす対応トイレを9月末工事とする。
 5. 工期 契約工期 契約確定日から令和9年2月26日まで
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場施工に着手するまで
現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工に着手するまで
現場施工期間 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで
ただし、仮設工事等は施設との協議による
 6. 工事範囲
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て、今回工事範囲とする。

工事種目	工事項目	仕様書参照
② 仮設工事		仕様書参照
③ 防水改修工事		仕様書参照
4 外壁改修工事		
-1	コンクリート打直し 仕上げ外壁	
-2	モルタル塗り仕上げ外壁	
-3	タイル張り仕上げ外壁	
-4	塗り仕上げ外壁	
-5	外壁用塗膜防水塗り	
⑤ 建具改修工事		仕様書参照
⑥ 内装改修工事		仕様書参照
⑦ 塗装改修工事		仕様書参照
8 耐震改修工事		
⑨ 環境配慮改修工事		仕様書参照
⑩ 鉄筋工事		仕様書参照
⑪ コンクリート工事		仕様書参照

- #### II 建築改修工事仕様
- (1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、すべて「春日部市建築工事特別共通仕様書」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)、及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。))による。
 - (2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
 - (3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
3) ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。「春日部市建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
4) 特記事項に記載の「...」内の表示番号は、「春日部市建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
5) 特記事項に記載の「...」内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、「()」内は製品名を示す。
7) 本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針」による特定調達品目のうち、「判断基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という。)を選択するよう努めるものとする。
8) ※印は設計図書で定めのある品目を示す。
9) ※印は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項目	特記事項
①	① 適用基準等	※埼玉県建築工事実務要領に記載の要領等 ※建築工事監理指針(国土交通省監修)(参考図書) ※建築工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) なお、新たな版が出版された場合、当該標準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
②	② 情報共有システム	「春日部市営繕工事情報共有システム実施要領」に基づく、情報共有システム(以下「システム」という。)利用対象工事である。ただし、システム利用を希望する受注者希望型の場合は、監督員と協議の上で取り組むことができる。 なお、システムで取り扱う工事関係書類は「情報共有システム対象書類一覧」のとおりとする。
③	③ 条件明示事項	保険の種類 [1.1.3] ※法定外の労災保険(工事に従事する者(全ての下請人員を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの) ※建設工事保険等(工事目的物及び工事材料等を対象とするもの) ※請負業者賠償責任保険等 保険の期間 ※工事完成期日後14日を含む期間
④	④ 工事実績情報の登録	※行う(請求代金額500万円以上、10日以内に登録) ・行わない [1.1.4][1.1.8]
5	5 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧 風速(Vo= m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ・積雪荷重 H12.5.31告示第1455号における区域 別表() ・大地震時の非構造部材の変形追随性能を確認する場合の層間変形角 1/200・1/150・1/120 ・図示() 確認箇所()
6	6 別契約の関連工事	※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主動的に調整する。[1.1.7] ・監督員指定の別契約工事が行う全体的調整に全面的に協力する。
7	7 施工に注意を要する区域等	本工事現場は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成 [1.1.12, 13]及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。 ・周知の埋蔵文化財包蔵地 ・史跡名勝天然記念物
⑧	⑧ 工事の記録	春日部市建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。[1.2.4][1.6.6]
9	9 電気保安技術者	適用する [1.3.3][1.3.11]
⑩	⑩ 施工条件	施工時間 [1.3.5][1.3.5] ※行政機関の休日に関する法律(第83第91号)に定める行政機関の休日以外とする。 ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・以下の期間を除いた現場閉鎖日数の割合が28.5%(8日/28日)以上であること。 ・年末年始(8日間)、夏季休暇(3日間)、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間 指定期間() 施工時間以外の施工条件 ・図示による
⑪	⑪ 施工中の安全確保	本工事の受注者は、作業が同一の場所において行われることによって生じる労(1.3.7)災害を防止するために必要な措置を講ずべき者(統括安全衛生管理義務者)とする。
⑫	⑫ 環境保全等	建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。[1.3.11]
⑬	⑬ 発生材の処理等	引渡しを要するもの [1.3.12][1.1.12] ※無し(全て構外搬出適正処理) ・有り(※図示()) 注 a) 発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引き渡しを要しないものは、すべて構外搬出とする。「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)」 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。
⑭	⑭ 県産品の使用	受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は[1.4.2]埼玉県内に本店を有する者の中から選定するよう努めるとともに、相違する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。
⑮	⑮ 環境への配慮	建築物内部に使用する材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び[1.4.1][1.4.3]性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生させないか、発散が極めて少ない材料で、設計図面に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル)等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生させないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
⑯	⑯ 材料の品質等	※本工事に使用する材料等は、設計図面に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。 ※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。 ① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること ② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること ③ 安定的な供給が可能であること ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること ⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること ※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」(林野庁)に準拠した証明書が監督員に提出する。
⑰	⑰ 石綿含有建材の調査	調査 [1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料() ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 クロソライト、アモサイト、アンソサイト、クリソライト、クロソライト、トロンライト
⑱	⑱ 施工計画書	サンプリング数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示 ◎普通教室棟(西側・東側) 1階トイレ ◎管理特別教室棟 1階トイレ ※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承諾を受ける。 ※総合施工計画書(工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む) ◎分別解体等の計画書 ◎産業廃棄物処理計画書(収集運搬許可・産業廃棄物許可及び委託契約書を含む) ◎防水改修工事施工計画書(下地処理を含む) ◎外壁改修工事施工計画書() ◎建具改修工事施工計画書()

⑫	⑫ 技能士	・ガラス改修工事施工計画書 ◎内装改修工事施工計画書() ◎塗装改修工事施工計画書() ◎耐震改修工事施工計画書() ・電気、機械設備改修工事施工計画書(電気・機械設備がある場合のみ) [1.6.2][1.3.3]
20	20 化学物質の濃度測定	対象化学物質 判定基準 [1.5.9][1.7.9] 備考 ホルムアルデヒド 100µg/m³(0.08ppm)以下 ※厚生労働省 トルエン 260µg/m³(0.07ppm)以下 指針 キシレン 200µg/m³(0.05ppm)以下 指針、量単位 エチルベンゼン 3,800µg/m³(0.88ppm)以下 換算は25℃ スチレン 240µg/m³(0.06ppm)以下 パラジクロロベンゼン 240µg/m³(0.04ppm)以下
21	21 中間検査	測定方法 採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。 ①機体の採取方法 ※吸引方式(アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法) ・吸引方式(アクティブ法) ・拡散方式(パッシブ法) ②アクティブ法 ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着/溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフィー(以下HPLC)により行う。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着/溶媒抽出法、固相吸着/加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ/質量分析法(以下GC/MS)により行う。 ③パッシブ法 ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、HPLC又はガスクロマトグラフ法(以下GC)あるいはAHMT-吸光光度法のうち採取機器に適合した分析法による。 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しGCまたはGC/MSのうち採取機器に適合した分析法による。 測定対象室 ※監督員の指示する室() ・図示 測定箇所数 ※() ・図示 測定時期 ※工事着手前及び完了後 報告書 ※2部
⑳	⑳ 完成図等	中間検査 ※行う(春日部市工事検査規則) ・行わない [1.7.2][1.5.1] 中間検査実施回数() 実施段階() 監督員の指示による 中間検査成績評定 ※対象外 ・対象(春日部市工事成績評定要領) 監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱表第1 [1.8.1~3][1.6.1~3]に示す書類を原則電子データで提出する 完成図等の種類及び記入内容 完成(竣工)図 ※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの) 図面情報電子化媒体 ※CD-R又はDVD-R 1部 CADデータの形式 ※DXF(stc) ・DWG DWG・JWW (埼玉県建築工事関係電子化媒体作成要領による。CADデータの「.dwg」は監督員と協議する) 安全に関する資料 ※設計図書(諸事取扱いに注意を要するもの使用方法を解説する)完成写真(春日部市建築工事写真作成要領に基づき作成する) 完成写真は、春日部市が行う事務並びに春日部市が認められた広報に無償で使用できるものとする。 撮影者 ※監督員の承諾する撮影者 撮影箇所 ※外部() 内部() 着工時と完成時の状況と比較できるように撮影する ・春日部市建築工事写真作成要領表5 原本及びアルバムを各1部提出 原本(電子媒体:撮影時のJPEG)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出 パネル入り(外部前景) 完成写真 ・要 施設CADデータ 更新して提出 ・更新しない
㉑	㉑ 保証書	防水工事 ※屋上防水 ・外壁防水 ・金属屋根 [1.6.4] 建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料メーカーの3者連名とし2部提出する。 区分以外 1部提出
㉒	㉒ 工事用図面	工事用着手時原設計図 縮小製図(A3版 A3版以上の設計図はA3に縮小) ※要(4部) ・不要
㉓	㉓ その他	・予備材料 ※監督員の指示による ◎下請契約 ※全体及び市内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。
①	① 騒音・粉じん等の対策	防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示 [2.1.3]
②	② 足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり専用足場方式により行う。 外部足場 ◎設置する(設置範囲・図示) ・ ◎設置しない 防塵シート ◎設置する(設置範囲・図示) ・ ◎設置しない 内部足場 ◎設置する(※脚立・足場板等) ・ ◎設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種・B種・C種・D種・E種) C種:利用可能な上しべーター(・図示) D種:利用可能な階段(・図示)
③	③ 既存部分の養生	塵落防止用具の使用は、「塵落防止用具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省)による。 ◎フルハーネス型塵落防止用具を用いる。 幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する。(労働安全衛生規則第561条の2) 既存部分 養生の方法(※ビニルシート、合板等) () 既存家具、既存設備等 養生の方法(※ビニルシート等) () 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法(・ビニルシート等) () 保管場所(・図示) () 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ※図示 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
④	④ 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・図示 [2.3.2][表2.3.1] 仮設間仕切りの種別と材質等 種別 下地 仕上げ(厚さmm) 塗装 充填材 ◎A種 ・木 ○せつこうボード(9.5mm) ◎無し ※有り ◎B種 ○軽量鉄骨 種類() ・片面 ◎合板(9.0mm) 材質()

5	5 監督員事務所	※C種 単層 防災シート 充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上) 仮設間仕切り等に設ける仮設扉の材質等 材質 仕上げ 塗装 設置箇所 充填材 ※木製 ※合板張り程度 ・無し ※図示 ・か所 ・有り ・片面 ・無し
⑥	⑥ 現場表示板	充填材:グラスウール32k(厚:50mm以上) 規模 ・既存建物内の一部を使用 [2.4.1] ・構内に新設 m ※設置しない(下記備品のみ用意する) 備品() (名分相当) ・柵 ・梯子 ・書棚 ・黒板 ・掛時計 ・寒暖計 ・長靴 ・両合羽 ・保護帽 ・懐中電灯 ・塵落防止用具 ・軍手 ・衣類ロッカー ・冷暖房機器 ・消火器 ・湯沸器 ・茶器 ・掃除用具 ・電話機 ・FAX ・電子メール通信機器 ・スキャナー ・プリンター
⑦	⑦ 工事用水	※設置する([1.1.12]による表示) ・要() ・不要() ・設置しない [2.4.1][1.1.12]
⑧	⑧ 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ◎利用できる(※有償) ・無償)
⑨	⑨ 工事用搬入路	構内既存の施設 ※利用できない ◎利用できる(別途施設調整を行うこと) ※図示
⑩	⑩ 仮囲い	※設置位置等は監督員の指示による ・図示
⑪	⑪ 交通誘導員	必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。 配置箇所 ※監督員の指示による ・図示
12	12 快通トイレ	仕様 ※図示
⑬	⑬ 防水改修工事	1 施工数量調査 [1.6.2, 3] 調査方法 ・図示 調査方法の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 調査報告書 提出部数 ・2部 2 降雨等に対する養生方法(とい共) [3.1.3] ※[3.1.3](5)(7)~(9)による 3 既存防水の処理 [3.1.4][3.2.3, 4, 6] 既存保護層の撤去 ・行う(範囲・図示) () ・行わない 既存防水層の撤去 ・行う(範囲・図示) () ・行わない 既存露出防水層表面の仕上塗装処理 ・行う(・M4S1 ・M4C ・M4D1) ・行わない 既存塗膜防水層表面の仕上塗装処理 ・行う(L4X) ・行わない 4 既存下地の処理 [3.2.6] 既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示 POS工法及びPOSII工法(機械式固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※[3.2.6](4)(7)(g)①~③による 設備機器架台、配管受部、バラベツト、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層未端部の納まり部の処理 ・図示 屋根保護防水防水層の種別 [3.3.2~5] 防水層の種別 種別 施工箇所 断熱材 [3.9.2]~[3.9.3] 絶縁用シート 立上り部の保護 ・P2A ・A-1 (材質) ※JIS A 9521に基づく挿出法 ※70g/㎡程度 ・A-2 ※JIS R 1250 ・A-3 ※JIS R 1250 ・P1B ・B-1 又は70g/㎡程度 ・B-2 ※JIS R 1250 ・P2A1 ・A-1 (材質) ※JIS A 9521に基づく挿出法 ※70g/㎡程度 ・A-2 ※JIS R 1250 ・A-3 ※JIS R 1250 ・P1B1 ・B-1 (材質) ※JIS R 1250 ・T1B1 ・B-2 (材質) ※JIS R 1250 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による ※JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料による区分 厚さ()mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による ※JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料による区分 厚さ()mm以上 平場の保護コンクリートの厚さ ・て仕上げ ※水下 80mm以上 ・床タイル張り ※水下 60mm以上 ・乾式系保材 ・産業系パネルI類(厚さ mm、幅 mm) 屋根露出防水防水層の種別 [3.3.2~5] 工法 種別 施工箇所 断熱材 [3.9.2] 仕上塗料 備考 ・M4C ・C-1 (種類・使用量) (種類・使用量) ・C-2 ※70g/㎡程度 ・C-3 の製造所の仕様 ・C-4 (脱気装置) ・M3D ・D-1 ※70g/㎡程度 ・D-2 の製造所の仕様 ・設置しない (改修用I'の) ・設置しない (改修用II'の) ・設置しない (改修用III'の) 高日射反射率防水の適用 ◎ ※適用する ・適用しない 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による ※JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料による区分 厚さ()mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※[表3.3.3]から[表3.3.9]による ※JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ※R種 材料による区分 厚さ()mm以上 絶縁断熱工法のルーフィング回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)

6 改質アスファルトシート防水
7 合成高分子系ルーフィングシート防水
8 塗膜防水

シーリング
10 とい
11 アルミニウム製止水
12 防水工事施工票
4 外壁改修工事
4-1 コンクリート打放し仕上げ外壁

4-2 モルタル塗り仕上げ外壁
4-3 タイル張り仕上げ外壁
4-4 塗り仕上げ外壁等

5 浮き部改修工法
6 目地改修工法
4-4-1 既存塗膜等の除去・下地調整
4-4-2 仕上塗材仕上げ
3 マスチック塗材塗り
4-5 外壁用塗膜防水材塗り

⑤ ① 改修工法	① 改修工法 [5.1.3]	<p>建具の種類 かつぎ工法 撤去工法 適用箇所</p> <p>・アルミニウム製建具 撤去工法 適用箇所</p> <p>・樹脂製建具 撤去工法 適用箇所</p> <p>・鋼製建具 撤去工法 適用箇所</p> <p>○鋼製軽量建具 撤去工法 適用箇所</p> <p>・ステンレス製建具 撤去工法 適用箇所</p> <p>・木製建具 撤去工法 適用箇所</p> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p>																							
	2 防火戸 [5.1.4]	<p>適用箇所 ※建具表による</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 行う ※建具表による</p>																							
	3 見本の製作等 [5.1.5]	<p>建具見本の製作 行う (建具符号:) 行わない</p> <p>建具見本製作の目的等: () 行わない</p> <p>特殊な建具の仮組 行う (建具符号:) 行わない</p>																							
	4 防犯建物部品 [5.1.7]	<p>適用箇所 (・建具表による)</p>																							
	5 アルミニウム製建具 [5.2.2~5][表5.2.1、2]	<p>性能値等 [5.2.2~5][表5.2.1、2]</p> <p>耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>気密性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>水密性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-3</td> <td>W-4</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [] 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材の見込み寸法 ※建具表による</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 〇BB-1種 〇BB-2種 着色 標準色 特注色 屋内の建具 種類 〇BC-1種 〇BC-2種 着色 標準色 特注色 結露水の処理方法 工法 水切り板、ぜん板等 ※図示</p>	種類	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所	・A種	S-4	A-3	W-4	※図示による	・B種	S-5	A-4	W-5	※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5	※図示による			
	種類	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所																				
	・A種	S-4	A-3	W-4	※図示による																				
・B種	S-5	A-4	W-5	※図示による																					
・C種	S-6	A-4	W-5	※図示による																					
6 網戸等 [5.2.3][表5.3.3]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm												
種類	材質	線径	網目																						
・防虫網	合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																						
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																						
7 樹脂製建具 [5.2.2][5.3.2~5]	<p>性能値等 [5.2.2][5.3.2~5]</p> <p>耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>気密性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>水密性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>材見込み(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td>A-4</td> <td>W-4</td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td></td> <td>※図示による</td> </tr> </table> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 〇T-1 〇T-2 (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [] 断熱性の等級 〇H-4 〇H-5 〇H-6 〇H-7 〇H-8 (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級 材の見込み寸法 ※建具表による</p> <p>材料 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L 形状及び仕上げ 表面色 標準色 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示</p>	種類	耐風圧性	気密性	水密性	材見込み(mm)	施工箇所	・A種	S-4	A-4	W-4		※図示による	・B種	S-5	A-4	W-5		※図示による	・C種	S-6	A-4	W-5		※図示による
種類	耐風圧性	気密性	水密性	材見込み(mm)	施工箇所																				
・A種	S-4	A-4	W-4		※図示による																				
・B種	S-5	A-4	W-5		※図示による																				
・C種	S-6	A-4	W-5		※図示による																				
⑧ 鋼製建具 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]	<p>性能値等 [5.2.2][5.4.2、4][表5.4.2]</p> <p>簡易気密型ドアセット 適用する(※建具表による) 〇適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [] 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 〇D-2:1/120 〇D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 鋼板 亜鉛めっき鋼板 〇ビニル被膜鋼板 〇鋼板 〇ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの) ※建具表による 上記以外の鋼製建具 ※[表5.4.2]による 〇建具表による 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>																								
⑨ 鋼製軽量建具 [5.2.2][5.5.2~4]	<p>性能値等 [5.2.2][5.5.2~4]</p> <p>簡易気密型ドアセット 適用する(※建具表による) 〇適用しない</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [] 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 〇D-2:1/120 〇D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 鋼板 亜鉛めっき鋼板 〇ビニル被膜鋼板 〇鋼板 〇ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L 形状及び仕上げ 鋼板の厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超えるもの) ※建具表による 上記以外の鋼製軽量建具 ※[表5.5.1]による 〇建具表による 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による</p>																								

10 ステンレス製建具 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]	<p>性能値等 [5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]</p> <p>簡易気密型ドアセット 適用する(※建具表による) 〇適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>断熱ドア、断熱サッシ [] 断熱性の等級 () (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>耐震ドア 面内変形追随性の等級 (・D-1:1/300 〇D-2:1/120 〇D-3:1/100) (適用する建具 ※建具表による)</p> <p>材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※H L 形状及び仕上げ 表面仕上げ 〇H L 〇鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ 〇角出し曲げ</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(f)(a)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板 []</td> <td>表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1種 〇2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然化粧合板 []</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1種 〇2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 []</td> <td>化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1種 〇2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MDF []</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ ※[表5.7.6]による 引戸の召合せかまのいんろう付きの適用 〇適用しない 〇適用する</p> <p>・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※30mm 〇建具表による</p> <p>・ふすま 張りの種類 (・I型 〇II型) 上張り(押入等の裏側以外) 〇鳥の子 〇新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ 〇塗り縁 〇生地縁(桑地) 〇生地縁(ワレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm 〇建具表による</p> <p>・戸ぶすま 表面板の仕上 〇建具表による 見込み寸法 ※30mm 〇建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm 〇建具表による</p> <p>枠及びくつずりの材料 〇建具表による</p>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板 []	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1種 〇2種)		・天然化粧合板 []	樹種名 () 接着の程度 (・1種 〇2種)		・特殊加工化粧合板 []	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1種 〇2種)		・MDF []		
合板の種類	規格等	備考														
・普通合板 []	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1種 〇2種)															
・天然化粧合板 []	樹種名 () 接着の程度 (・1種 〇2種)															
・特殊加工化粧合板 []	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1種 〇2種)															
・MDF []																
11 木製建具 [5.7.2~4]	<p>性能値等 [5.7.2~4]</p> <p>金物の種類及び見掛け部の材質等 ※[表5.8.1]及び適用は建具表による</p> <p>金風製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.2]による 〇建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.3]による 〇建具表による</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.4]による 〇建具表による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール ※[表5.8.5]による 〇建具表による</p> <p>振り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 〇建具表による</p> <p>錠前類 シリンダ錠及びシリンダ本締まり錠 クローザ類</p> <p>マスターキー 〇製作する(・新規 〇既存マスター合わせ) 〇製作しない [5.8.4] その他の鍵 ※各室3本1組(室名札付き) 〇有</p>															
⑫ 建具用金物 [5.8.1~3]	<p>性能値等 [5.8.1~3]</p> <p>金物の種類及び見掛け部の材質等 ※[表5.8.1]及び適用は建具表による</p> <p>金風製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.2]による 〇建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.3]による 〇建具表による</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5.8.4]による 〇建具表による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール ※[表5.8.5]による 〇建具表による</p> <p>振り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 〇建具表による</p> <p>錠前類 シリンダ錠及びシリンダ本締まり錠 クローザ類</p> <p>マスターキー 〇製作する(・新規 〇既存マスター合わせ) 〇製作しない [5.8.4] その他の鍵 ※各室3本1組(室名札付き) 〇有</p>															
14 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]	<p>性能値等 [5.9.2、3]</p> <p>戸の開閉方式 ・建具表による</p> <p>引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.1による (防錆 〇適用する 〇適用しない) ・種類 〇開閉方式 () 〇耐電圧 () ・温度上昇 () 〇耐久性(サイクル) () ・防錆 () 〇電源 () ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.2による (防錆 〇適用する 〇適用しない) ・耐電圧 () 〇温度上昇 () ・耐久性(サイクル) () 〇防錆 () ・電源 () 引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書5.9.3による (防錆 〇適用する 〇適用しない) ・耐電圧 () 〇防錆 () ・防滴 () 〇電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性項目 〇建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ 〇光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・大形押しボタンスイッチ 〇非接触スイッチ 凍結防止措置 〇行う 〇行わない</p>															
⑬ 錠 [5.8.4]	<p>性能値等 [5.8.4]</p> <p>マスターキー 〇製作する(・新規 〇既存マスター合わせ) 〇製作しない [5.8.4] その他の鍵 ※各室3本1組(室名札付き) 〇有</p>															
16 重量シャッター [5.11.2、3]	<p>性能値等 [5.11.2、3]</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター 防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) 〇手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 〇建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 〇建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 〇建具表による)</p>															

17 軽量シャッター [5.12.2~4]	<p>性能値等 [5.12.2~4]</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース 〇設ける 〇設けない スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレールは、まくら、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる スリットボックスのふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>開閉形式の種類 〇電動式(手動併用) ※手動式 [5.12.2~4] 耐風圧強度 () Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 〇建具表による) スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量 ※AZ90 スラットの形状 〇インターロック形状 〇オーバーラッピング形状</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>風圧力による区分(Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレールの材質</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・125 ・100 ・75</td> <td>※バランスポ ・電動式</td> <td>・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーテカル形</td> <td>※溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス鋼板</td> </tr> </table> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 〇建具表による)</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 [3.7][5.14.2~4]</p> <p>・フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>⑭ 型板ガラス [5.13.2、3]</p> <p>型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 〇平面合わせガラス 〇曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 〇I類 〇II-1類 〇II-2類 〇III類</p> <p>⑮ 強化ガラス [5.13.2、3]</p> <p>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類 〇I類 〇III類</p> <p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 〇1種 〇2種</p> <p>・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 〇T1 〇T2 〇T3 〇T4 〇T5 〇T6 日射遮蔽性及び日射遮蔽性による区分 〇G 〇S 乾燥気体の種類 〇空気 〇アルゴン</p> <p>・ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 〇ガラス留め材 〇ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 〇シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 〇グレイジングチャンネル 〇図示による</p> <p>鋼製及び鋼製軽量 〇シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 〇図示による</p> <p>ステンレス製 〇シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 〇図示による</p> <p>樹脂製 〇グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による 〇図示による</p>	セクション材料による区分	風圧力による区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75	※バランスポ ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーテカル形	※溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																																					
セクション材料による区分	風圧力による区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質																																																												
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75	※バランスポ ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーテカル形	※溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス鋼板																																																												
18 オーバーヘッドドア [5.13.2、3]	<p>性能値等 [5.13.2、3]</p> <p>電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 〇建具表による)</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 [3.7][5.14.2~4]</p> <p>・フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>⑭ 型板ガラス [5.13.2、3]</p> <p>型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 〇平面合わせガラス 〇曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 〇I類 〇II-1類 〇II-2類 〇III類</p> <p>⑮ 強化ガラス [5.13.2、3]</p> <p>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類 〇I類 〇III類</p> <p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 〇1種 〇2種</p> <p>・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 〇T1 〇T2 〇T3 〇T4 〇T5 〇T6 日射遮蔽性及び日射遮蔽性による区分 〇G 〇S 乾燥気体の種類 〇空気 〇アルゴン</p> <p>・ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 〇ガラス留め材 〇ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 〇シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 〇グレイジングチャンネル 〇図示による</p> <p>鋼製及び鋼製軽量 〇シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 〇図示による</p> <p>ステンレス製 〇シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 〇図示による</p> <p>樹脂製 〇グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による 〇図示による</p>																																																															
⑯ ガラス [5.14.2~4]	<p>性能値等 [5.14.2~4]</p> <p>適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 [3.7][5.14.2~4]</p> <p>・フロート板ガラス フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>⑭ 型板ガラス [5.13.2、3]</p> <p>型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による</p> <p>・網入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による</p> <p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 〇平面合わせガラス 〇曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類 〇I類 〇II-1類 〇II-2類 〇III類</p> <p>⑮ 強化ガラス [5.13.2、3]</p> <p>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類 〇I類 〇III類</p> <p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 〇1種 〇2種</p> <p>・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 〇T1 〇T2 〇T3 〇T4 〇T5 〇T6 日射遮蔽性及び日射遮蔽性による区分 〇G 〇S 乾燥気体の種類 〇空気 〇アルゴン</p> <p>・ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 〇ガラス留め材 〇ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 〇シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 〇グレイジングチャンネル 〇図示による</p> <p>鋼製及び鋼製軽量 〇シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 〇図示による</p> <p>ステンレス製 〇シーリング材 ※建具の製造所の仕様による 〇図示による</p> <p>樹脂製 〇グレイジングチャンネル ※建具の製造所の仕様による 〇図示による</p>																																																															
20 ガラスブロック [5.14.5]	<p>性能値等 [5.14.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅(mm)</th> <th>伸縮調整目地位置(mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 力青 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 〇白 〇グレー シーリングの種類 〇SR-1 〇PS-1 金属化粧化粧カバー 材質 ※ステンレス製 〇アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による 〇図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 〇1.15 〇1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※施工箇所は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>内貼り用</th> <th>記号</th> <th>外貼り用</th> <th>その他性能等</th> </tr> <tr> <td>・日射調整フィルム []</td> <td>※SC-1</td> <td>SC-2</td> <td></td> <td>可視光線透過率:65%以上</td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>LE</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・衝撃破壊対応ガラス</td> <td>G1-1</td> <td>G1-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td>GD-1</td> <td>GD-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間変位破壊対応ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td>SF</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>品質 JIS A 5759 による</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>熱割れ計算書 ※要 〇不要 第3者機関による性能測定データ ※要 〇不要</p>	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能	・160×160	・95					・200×200	・95					種類	内貼り用	記号	外貼り用	その他性能等	・日射調整フィルム []	※SC-1	SC-2		可視光線透過率:65%以上	・低放射フィルム	LE				・衝撃破壊対応ガラス	G1-1	G1-2			・飛散防止フィルム	GD-1	GD-2			・層間変位破壊対応ガラス					・飛散防止フィルム	SF				・ガラス貫通防止フィルム					品質 JIS A 5759 による				
呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能																																																											
・160×160	・95																																																															
・200×200	・95																																																															
種類	内貼り用	記号	外貼り用	その他性能等																																																												
・日射調整フィルム []	※SC-1	SC-2		可視光線透過率:65%以上																																																												
・低放射フィルム	LE																																																															
・衝撃破壊対応ガラス	G1-1	G1-2																																																														
・飛散防止フィルム	GD-1	GD-2																																																														
・層間変位破壊対応ガラス																																																																
・飛散防止フィルム	SF																																																															
・ガラス貫通防止フィルム																																																																
品質 JIS A 5759 による																																																																
21 ガラス用フィルム [5.14.5]	<p>性能値等 [5.14.5]</p> <p>壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 力青 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 〇白 〇グレー シーリングの種類 〇SR-1 〇PS-1 金属化粧化粧カバー 材質 ※ステンレス製 〇アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による 〇図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 〇1.15 〇1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※施工箇所は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>内貼り用</th> <th>記号</th> <th>外貼り用</th> <th>その他性能等</th> </tr> <tr> <td>・日射調整フィルム []</td> <td>※SC-1</td> <td>SC-2</td> <td></td> <td>可視光線透過率:65%以上</td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>LE</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・衝撃破壊対応ガラス</td> <td>G1-1</td> <td>G1-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td>GD-1</td> <td>GD-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間変位破壊対応ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・飛散防止フィルム</td> <td>SF</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>品質 JIS A 5759 による</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>熱割れ計算書 ※要 〇不要 第3者機関による性能測定データ ※要 〇不要</p>	種類	内貼り用	記号	外貼り用	その他性能等	・日射調整フィルム []	※SC-1	SC-2		可視光線透過率:65%以上	・低放射フィルム	LE				・衝撃破壊対応ガラス	G1-1	G1-2			・飛散防止フィルム	GD-1	GD-2			・層間変位破壊対応ガラス					・飛散防止フィルム	SF				・ガラス貫通防止フィルム					品質 JIS A 5759 による																						
種類	内貼り用	記号	外貼り用	その他性能等																																																												
・日射調整フィルム []	※SC-1	SC-2		可視光線透過率:65%以上																																																												
・低放射フィルム	LE																																																															
・衝撃破壊対応ガラス	G1-1	G1-2																																																														
・飛散防止フィルム	GD-1	GD-2																																																														
・層間変位破壊対応ガラス																																																																
・飛散防止フィルム	SF																																																															
・ガラス貫通防止フィルム																																																																
品質 JIS A 5759 による																																																																

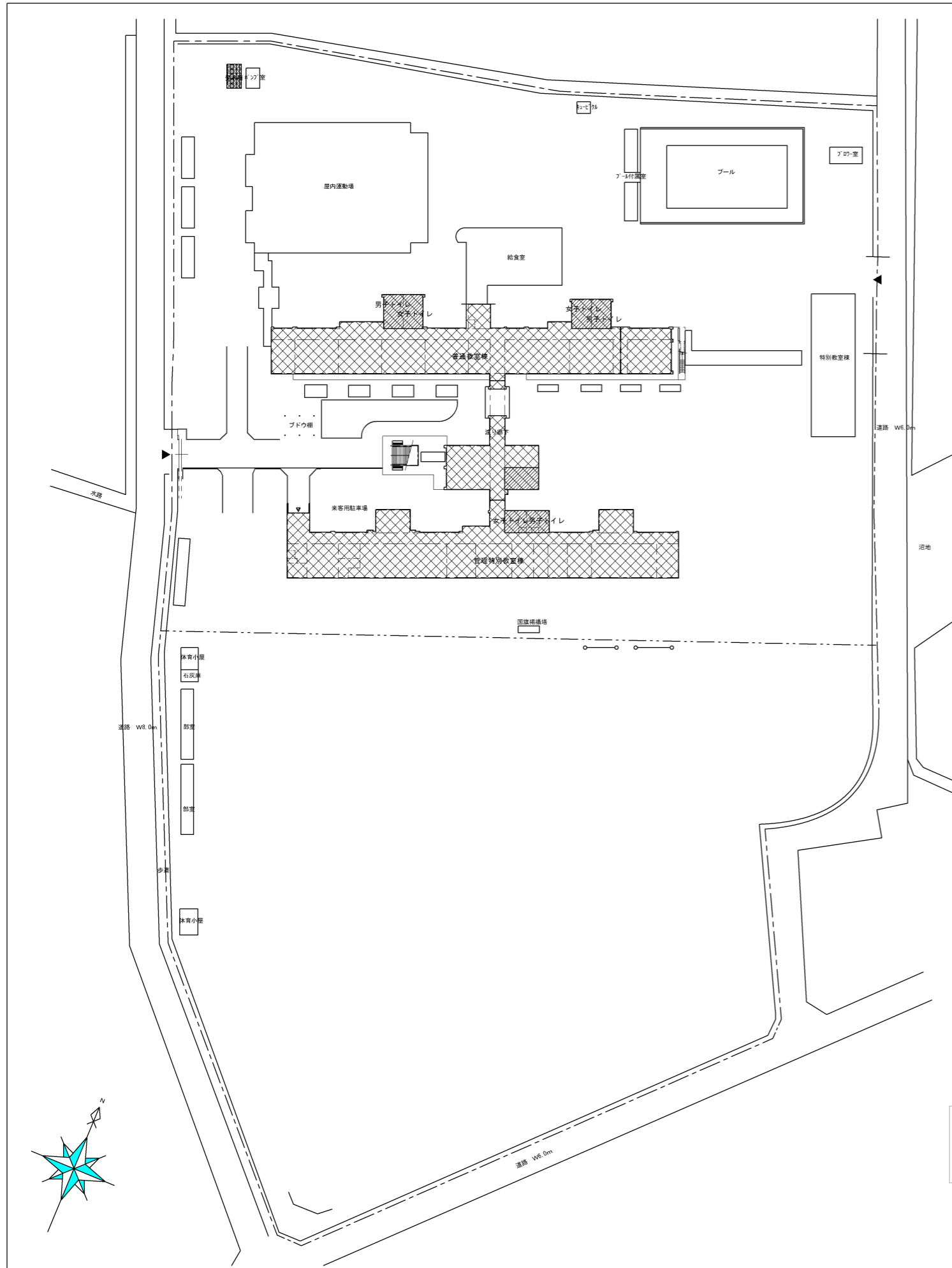
⑥ ① 改修範囲	① 改修範囲 [6.1.3]	<p>既存間仕壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 〇図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 〇図示 ※既存のまま 〇図示</p>																																																																														
	② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]	<p>ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) 下地モルタルとも (〇図示の範囲 〇除去範囲全て)</p> <p>合成樹脂塗床材の除去工法 〇機械的除去工法 〇目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内</p>																																																																														
	③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]	<p>間仕壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4.3.10]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示) 〇図示</p>																																																																														
	④ 施工一般 [6.5.2]	<p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(9)(b)による</p>																																																																														
	5 製材 [6.5.2]	<p>・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td></td> <td>〇A種 〇B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td></td> <td>〇A種 〇B種</td> </tr> </table> <p>・JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※上小節</td> <td></td> <td></td> <td>〇A種 〇B種</td> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td></td> <td></td> <td>〇A種 〇B種</td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〇A種 〇B種</td> </tr> </table> <p>・JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td>〇A種 〇B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td>〇A種 〇B種</td> </tr> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td></td> <td>〇A種 〇B種</td> <td>〇する 〇しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種 〇B種)</td> <td></td> <td>〇A種 〇B種</td> <td>〇する 〇しない</td> </tr> </table>	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※2級			〇A種 〇B種			※2級			〇A種 〇B種	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※上小節			〇A種 〇B種	見え掛り面		※小節以上			〇A種 〇B種	見え掛り面以外					〇A種 〇B種	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※1等	※10%以下		〇A種 〇B種			※1等	※10%以下		〇A種 〇B種	施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用			()		〇A種 〇B種	〇する 〇しない			造作材の場合 (※A種 〇B種)		〇A種 〇B種	〇する 〇しない
	施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																										
			※2級			〇A種 〇B種																																																																										
		※2級			〇A種 〇B種																																																																											
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																											
		※上小節			〇A種 〇B種																																																																											
見え掛り面		※小節以上			〇A種 〇B種																																																																											
見え掛り面以外					〇A種 〇B種																																																																											
施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																											
		※1等	※10%以下		〇A種 〇B種																																																																											
		※1等	※10%以下		〇A種 〇B種																																																																											
施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																											
		()		〇A種 〇B種	〇する 〇しない																																																																											
		造作材の場合 (※A種 〇B種)		〇A種 〇B種	〇する 〇しない																																																																											
6 造作用集成材 [6.5.2]	<p>・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 〇2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 〇2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>化粧薄板の樹種名</th> <th>芯材の樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 〇2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 〇2等</td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等 〇2等							※1等 〇2等		施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用									※1等 〇2等									※1等 〇2等	施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※15%以下						※15%以下														
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																										
					※1等 〇2等																																																																											
					※1等 〇2等																																																																											
施工箇所	品名	化粧薄板の樹種名	芯材の樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																								
								※1等 〇2等																																																																								
								※1等 〇2等																																																																								
施工箇所	樹種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																											
				※15%以下																																																																												
				※15%以下																																																																												
7 造作用単板積層材 [6.5.2]	<p>・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>〇する 〇しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS 0701以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td></td> <td>〇する 〇しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td></td> <td>〇する 〇しない</td> </tr> </table> <p>・JAS 3079Iに基づく直交集成板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用						〇する 〇しない		施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用				※14%以下		〇する 〇しない				※14%以下		〇する 〇しない	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用																																							
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																										
					〇する 〇しない																																																																											
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用																																																																											
			※14%以下		〇する 〇しない																																																																											
			※14%以下		〇する 〇しない																																																																											
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用																																																																									
⑦ 内装改修工事	<p>① 改修範囲 [6.1.3]</p> <p>既存間仕壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 〇図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 〇図示 ※既存のまま 〇図示</p> <p>② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]</p> <p>ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) 下地モルタルとも (〇図示の範囲 〇除去範囲全て)</p> <p>合成</p>																																																																															

35 階段滑り止め	材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 (20.2.7) 形状 ※タイヤ型(タイヤの材質:ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤレス製 端部の形状 フラットエンド ・あり ・なし 寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度 取付け方法 ※接着工法 ・埋め込み工法
36 黒板及びホワイトボード	・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・ほうろう ・鋼製 色 ※緑 ・ホワイトボード ()
⑦ 表示	衝突防止表示 ※図示による ・設置場所 ※図示による 形状・寸法 (・30) 材質 (・ステンレス製 ・塩ビシート) ・設置しない 誘導標識、非常用出入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、 取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による) ※図示による
38 タラップ	材質及び仕上げ (20.2.12) ・SUS304(スリッパ止め加工 ※あり ・なし) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表 14.2.2による種別(※C種 種))
39 ブラインド	(20.2.14) 形式 操作 操作方法的種類 スラットの材質 呼び幅(mm) 5°/7°/10°の材質 幅・高さ取付箇所 ・横形 ・手動 ※ギヤ式 ※アルミニウム ※25 ※鋼製 ・図示 コード式 ・操作棒式 ・電動 - ・縦形 ・手動 ※2本操作棒式 ・アルミスラット ・80 ※7°/10° ※鋼製 ・図示 1本操作棒式 ・クロススラット ・100 合金製 ・電動 -
40 ロールスクリーン	縦型ブラインドの材質 アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 ④ とする 操作方式 スプリング式 ・コード式 ・電動式 (20.2.15) 幅、高さ、取付箇所 ・図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成 ・天然繊維製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による スクリーンの仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ④ とする スクリーンの仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ④ とする
41 カーテン	(20.2.16) 形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付け箇所 備考 ・シングル ・片引き ・手引き ・つまみひだ ・ダブル ・引分け ・ひも引き ・電動 ・箱ひだ、片ひだ ・アレンひだ 生地の仕様 消防法で定める防火性能の表示があるもの ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は、④ とする 暗幕カーテンの高端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上
42 カーテンレール	材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材 (20.2.16) ・ステンレス製 寸法による区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス	溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・合成材(仕上げ) ・アルミニウム製 押し出し型材(市販品) 種類(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色 ・鋼製(仕上げ)
④ 天井点検口	材質 寸法 形式 備考 ・アルミニウム製 ・450×450 ・一般形 ・屋内外用 ○縁付き ○スチレン製 ○600×600 ○密閉形 ○屋内用 ○隠付 ・鋼製 密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。
46 くつきマット	材質 受け枠 備考 ・塩化ビニル又はゴム製 ・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金製 ・硬質アルミニウム合金 ・ステンレス鋼(SUS304)製
47 流し台ユニット	材質 寸法(mm) 備考 W D H ・流し台 ・1200 ・550 ・800 市販品 ・1500 ・600 ・850 トラップ付き ・1800 ・650 天板ステンレス製 ・コンロ台 ・600 ・550 ・620 市販品 ・1200 ・600 ・670 パックガード有り ・900 ・650 天板ステンレス製 ・つり戸棚 ・1200 ・450 ・500 市販品 ・900 ・700 ・水切り ・1200 ・900 ・600 市販品 ステンレス製 1段式
48 鋼製書架及び物品棚	品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示 種類 規格等 JISによる種類 ・鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種 ・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種

49 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り
50 洗面カウンター	材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石 奥行き(mm) ・約450 ・約600
51 防煙垂れ壁	・固定式 材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考 ※網入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付き ・網入り磨板ガラス
52 収納家具	材質、形状、寸法 ※図示 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
⑦ 塗装改修工事	① 材料 [7.1.3] ② 下地調整 [7.2.1~7] ③ 素地ごしえ [7.3.2~7] ④ 錆止め塗料塗り [7.4.2.3] ⑤ 塗装 [7.5.2~7.12.2]
⑨ 環境配慮改修工事	① 石綿粉じん濃度測定 [9.1.1] ② 石綿含有吹付け材の除去(レベル1) [9.1.3] ③ 石綿含有保温材等の除去(レベル2) [9.1.4] ④ 石綿含有成形板の除去(レベル3) [9.1.5] ⑤ 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3) [9.1.6] ⑥ PCB含有シーリング材処分 [9.2.1~4] ⑦ 外断熱改修工事 [9.2.1~4]




⑧ 耐震改修工事	特記仕様書(改修その7~8)による
⑨ ① 石綿粉じん濃度測定	測定時期、場所及び測定点 [9.1.1] 測定時期 測定場所 (処理作業区ごと) 測定1 処理作業前 各2又は3点(・)点 測定2 処理作業中 各2点(・)点 測定3 処理作業中 各1点(・)点 測定4 処理作業中 各1点(・)点 測定5 処理作業中 各1点(・)点 測定6 処理作業中(隔離) 各2又は3点(各1点) 測定7 処理作業中(隔離) 各2又は3点(各1点) 測定8 処理作業中(隔離) 各2又は3点(各1点) 測定9 処理作業後(1週間以内) 各2又は3点(各1点) 測定10 処理作業後(1週間以降) 各2又は3点(各1点)
⑨ ② 石綿含有吹付け材の除去(レベル1)	除去対象範囲 ・図示 除去工法 ※[9.1.3](2)(7)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※密封処理 ※湿潤化 ・固化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
⑨ ③ 石綿含有保温材等の除去(レベル2)	除去工法 ※[9.1.4](2)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合) 除去対象範囲 図示 ・[9.1.3](2)による(腐蝕、劣化等で石綿粉塵を発生させるおそれがある場合) 除去対象範囲 図示 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※密封処理 ※湿潤化 ・固化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
⑨ ④ 石綿含有成形板の除去(レベル3)	除去対象範囲 ・図示 石綿含有けい酸カルシウム板第一種の場合の隔離養生(負圧不要)方法 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ・埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除去する石綿含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
⑨ ⑤ 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)	除去対象範囲 ○図示 除去工法 ・密封処理 ※湿潤化 ・固化 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止措置 ※密封処理 ※湿潤化 ・固化 除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
⑨ ⑥ PCB含有シーリング材処分	種類 採取する部位・箇所数 備考 ・PCB含有シーリング 部位 図示 ・分相検査(第一次判定) 箇所数 箇所 ・PCB含有シーリング 部位 図示 ・分相検査(第二次判定) 箇所数 箇所 詳細は監督員との協議による
⑨ ⑦ 外断熱改修工事	断熱材 種類()厚さ()mm 施工箇所(・)図示() ホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆ 外装材 種類 防火性能 備考 鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。 笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による。 既存外壁の処置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない 不地面の清掃 ・行う ・行わない 外構部の改修工法 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 遮気層の有無 ・あり()mm ・なし 外装材の外壁への取付け ・図示 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による

⑧ 断熱・防露改修工事	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4] ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 工法 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・A種1H 厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 図示 ・断熱材張り工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用 材質 厚さ(mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法
⑨ 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料 [9.4.2~4] 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の樹根並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯損補償の期間 ※引き渡しの日から1年
⑩ 透水性アスファルト舗装改修工事	適用範囲:歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 路床の材料 種類 材料 厚さ(mm) ・盛土 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ④ ・凍上抑制層 ・再生クラッシュラン ④ ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂(改修標準仕様書表9.5.11による) ・フィルター層 改修標準仕様書9.5.3(2)(7)による 図示 (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない 路床安定処理 ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 ・置き換え工法() ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ④ ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号) 添加量 () kg/m ³ (目標CBR ※3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・不織布ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m ² 以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻² cm/sec以上 試験 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 現場のCBR試験 ・行う ・行わない 路床締め固めの試験 ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない 路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン ④ ・再生粒度調整砕石 ④ ・クランチャー砕石スラグ ④ ・粒度調整鉄鋼スラグ ④ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ④ 舗装の構成 ・図示 舗装の平坦性 ※著しく不陸がないもの 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない
⑪ 舗装版切断時に発生する濁水の処理(舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)	濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却含まず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に焼却含む) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「 manifests」という。)により管理するものとする。 提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかに manifests の写しを監督員に提出しなければならないものとする。 その他 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。 1) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 2) 疑義が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

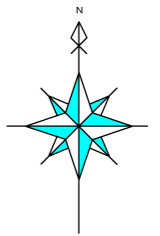
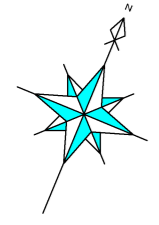


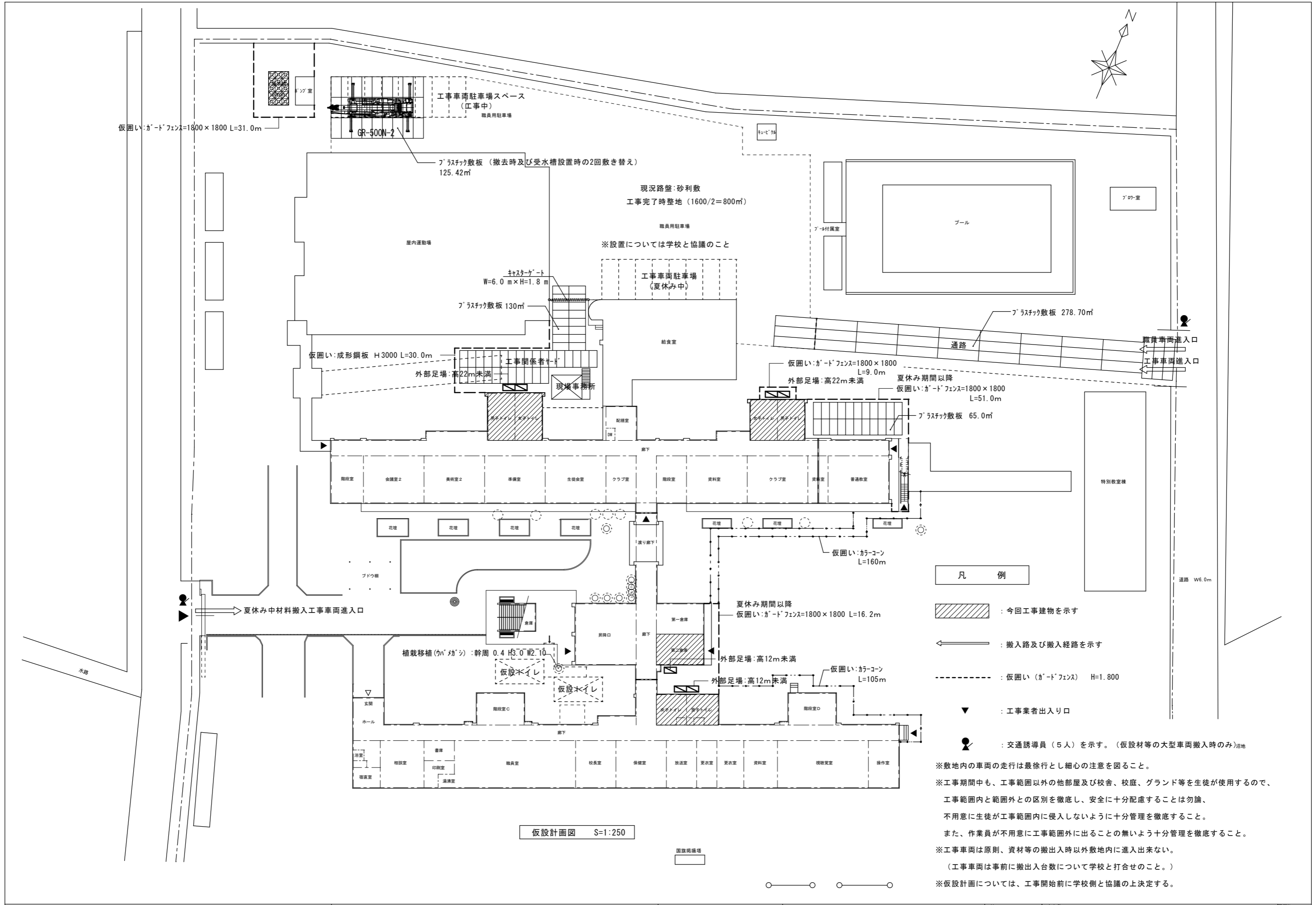
本工事場所：春日部市鏡子口130番地

案内図

- | | |
|--|---|
| <p>凡例</p> <p> 対象建築物を示す。</p> | <p>凡例</p> <p> トイレ改修工事部分を示す。</p> <p> 受水槽部分を示す。</p> |
|--|---|

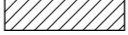

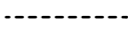


配置図 S=1:500





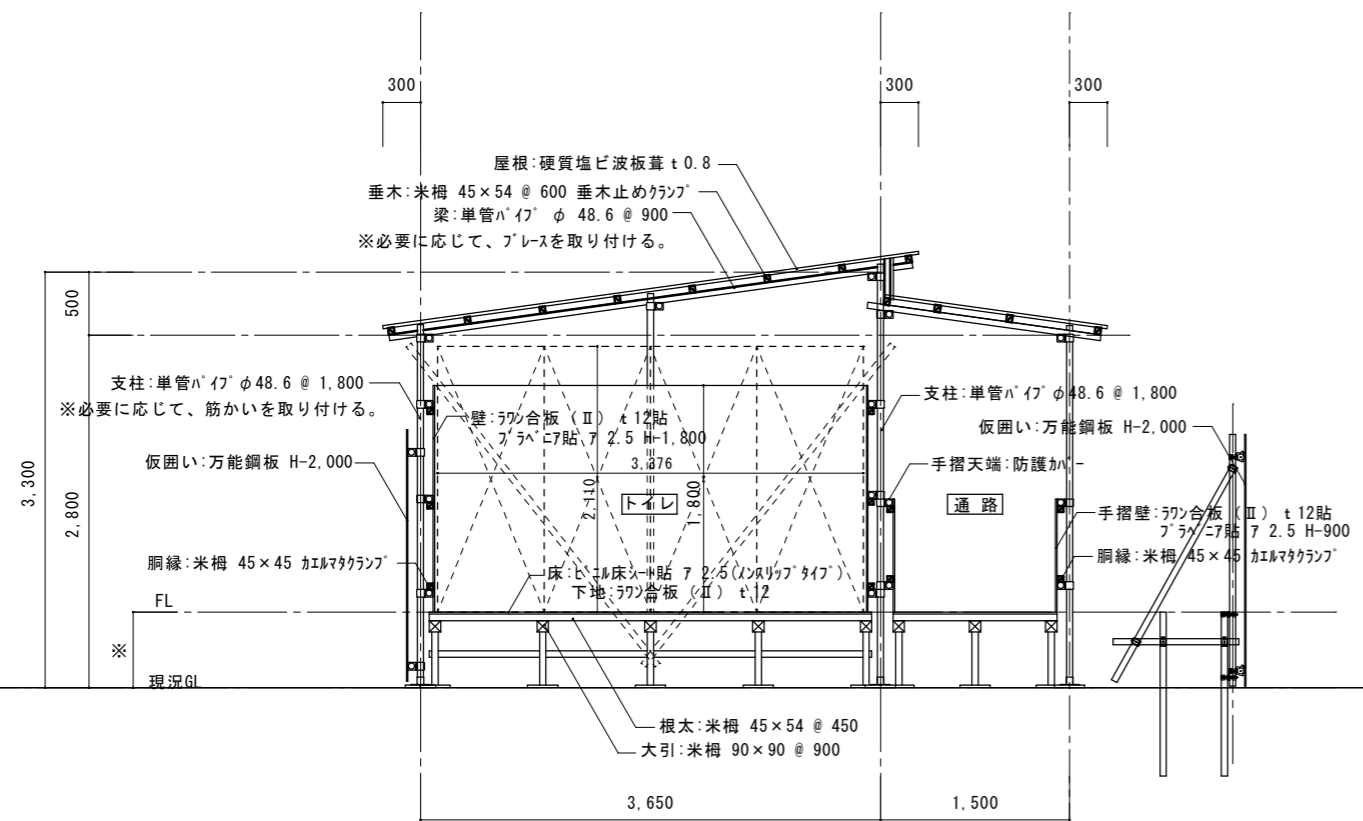
仮設計画図 S=1:250

凡例

-  : 今回工事建物を示す
-  : 搬入路及び搬入経路を示す
-  : 仮囲い(ガードフェンス) H=1.800
-  : 工事業者出入り口
-  : 交通誘導員(5人)を示す。(仮設材等の大型車両搬入時のみ)※

※敷地内の車両の走行は最徐行とし細心の注意を図ること。
 ※工事期間中も、工事範囲以外の他部屋及び校舎、校庭、グラウンド等を生徒が使用するの、工事範囲内と範囲外との区別を徹底し、安全に十分配慮することは勿論、不用意に生徒が工事範囲内に侵入しないよう十分管理を徹底すること。
 また、作業員が不用意に工事範囲外に出ることの無いよう十分管理を徹底すること。
 ※工事車両は原則、資材等の搬出入時以外敷地内に進入出来ない。
 (工事車両は事前に搬出入台数について学校と打合せのこと。)
 ※仮設計画については、工事開始前に学校側と協議の上決定する。

市道



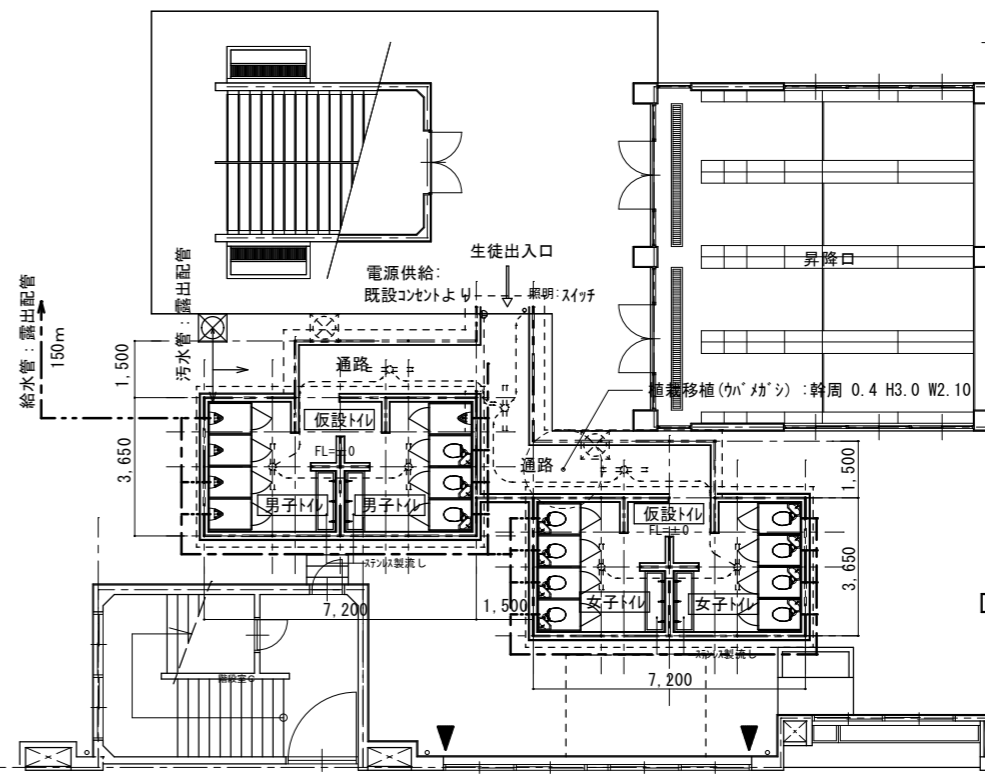
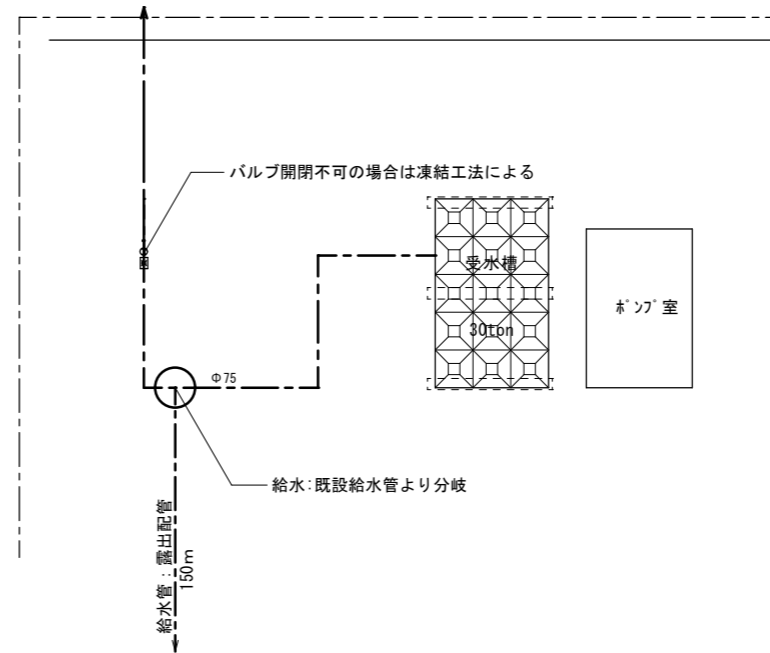
凡例

壁:フッ合板(Ⅱ) t 12 見え掛り部分 フラッシュ貼 7 2.5 H-1,800

単管パイプのジョイント部・出隅部・端部(H1,800以下部分)は、防護カバーを取り付ける等の安全対策を行う事。

雨天時の使用を考慮する事。

仮設トイレ断面図 S=1:30



仮設トイレ平面図・配置図 S=1:100

アスベスト分析試料 レベル一覧

件名 : 豊野中学校校舎トイレ改修工事設計業務委託

建物名称 : 豊野中学校 管理棟

検体名	レベル
①フレキシブルボード 塗材	3
②モルタル下地 塗材	3
③塩ビシート	—
④モルタル下地 塗材	3
⑤Pタイル	3
⑥石膏ボード 塗材	—
⑦モルタル下地 塗材	3

建物名称 : 豊野中学校 普通教室棟

検体名	レベル
⑧フレキシブルボード 塗材	3
⑨モルタル下地 塗材	3
⑩塩ビシート	—
⑪モルタル下地 塗材	3
⑫Pタイル	3

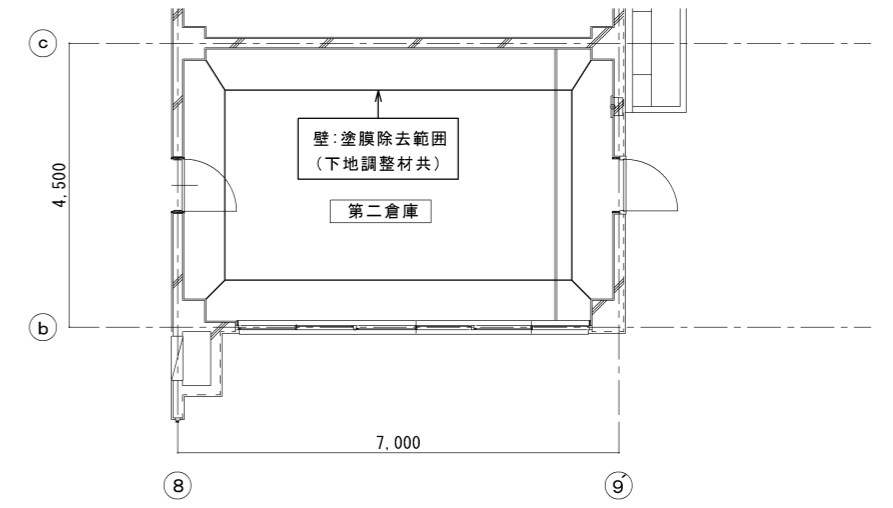
※1 レベルにおいて「—」は、アスベスト不検出であることを表す

※2 仕上塗材や下地調整材はレベル3建材に相当しますが、

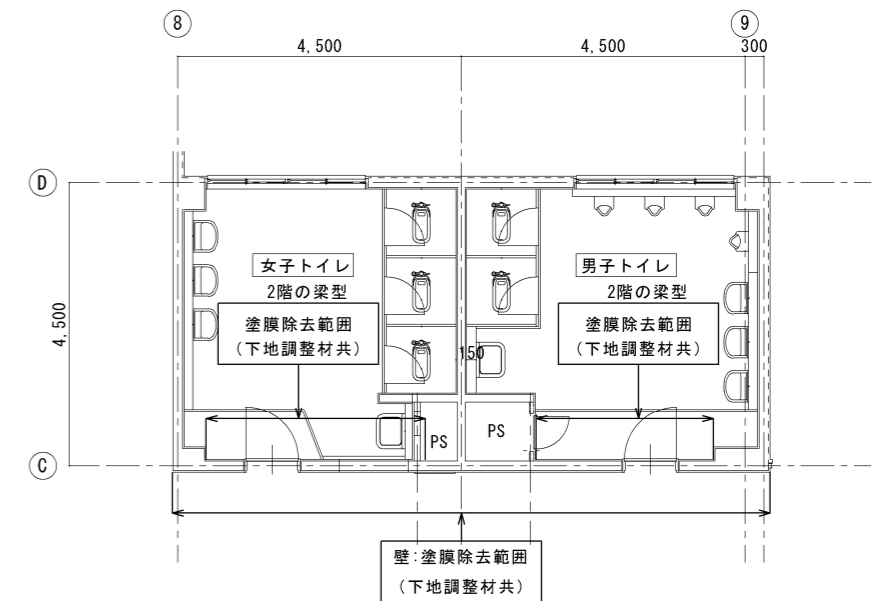
吹付け工法による施工（パーミキュライトやバーライト等）の場合はレベル1に該当します。

※モルタル下地 塗材 塗膜除去（下地調整材を含む）面積	
1. 普通教室棟（西側）1～4階 廊下・壁	97.02 m ²
2. 普通教室棟（西側）1階～3階 トイレ梁型	5.17 m ²
3. 普通教室棟（東側）1～4階 廊下・壁	85.70 m ²
4. 管理特別棟 1階 廊下・壁	29.61 m ²
5. 管理特別棟 2・3階 廊下・壁	40.23 m ²
6. 管理特別棟 1・2階 トイレ梁型	4.92 m ²
7. 第二倉庫 壁	50.40 m ²
図面拾い数量合計	313.05 m ²
設計数量：313.05m ² ×1.3倍	406.96 m ²

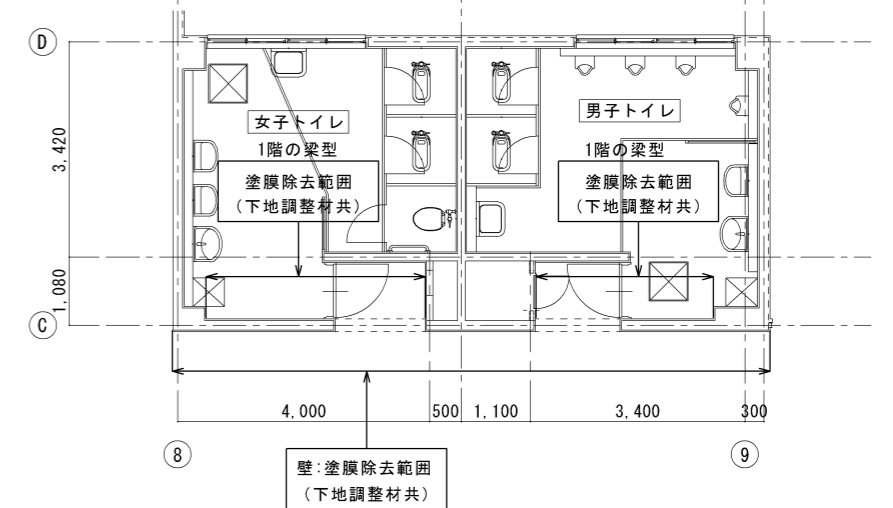
※トイレ：タイル張り・757防水、757含有建材の分析調査（定性分析・1検体）及び調査報告書を行うこと。



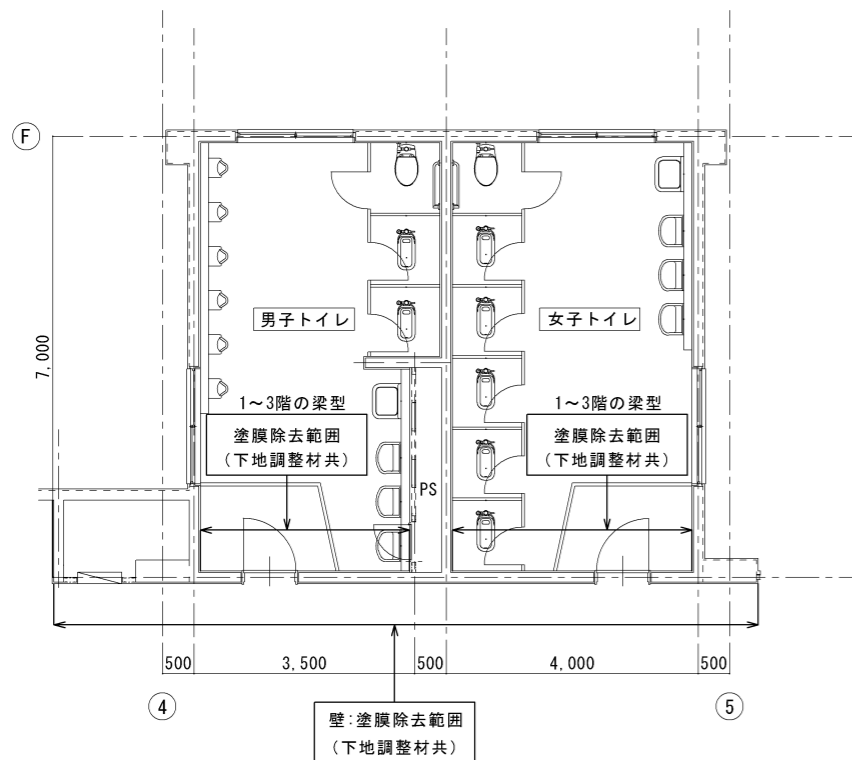
車いす対応トイレ・第二倉庫平面詳細図 S=1:60



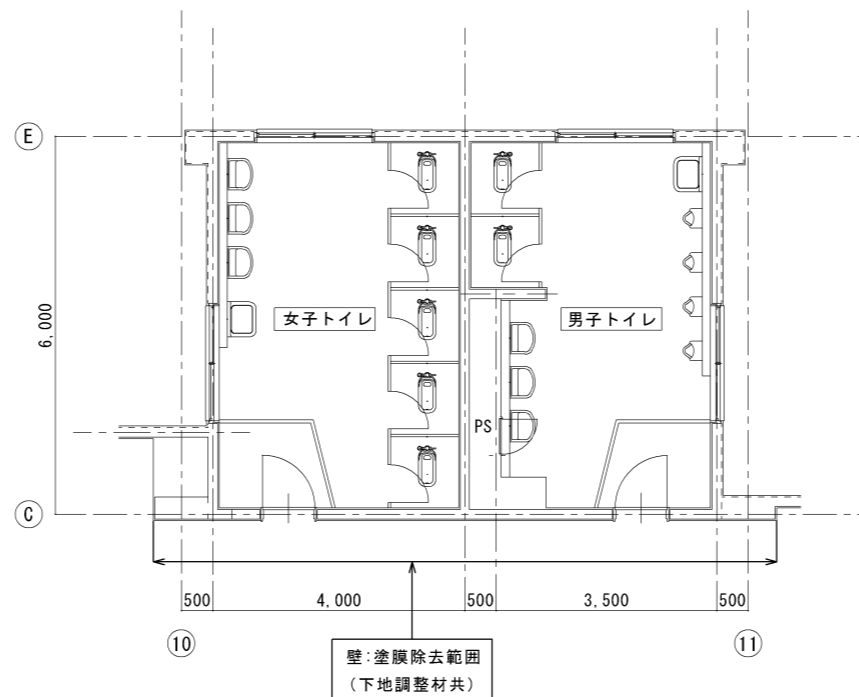
管理特別教室棟 2階・3階平面図 S=1:60



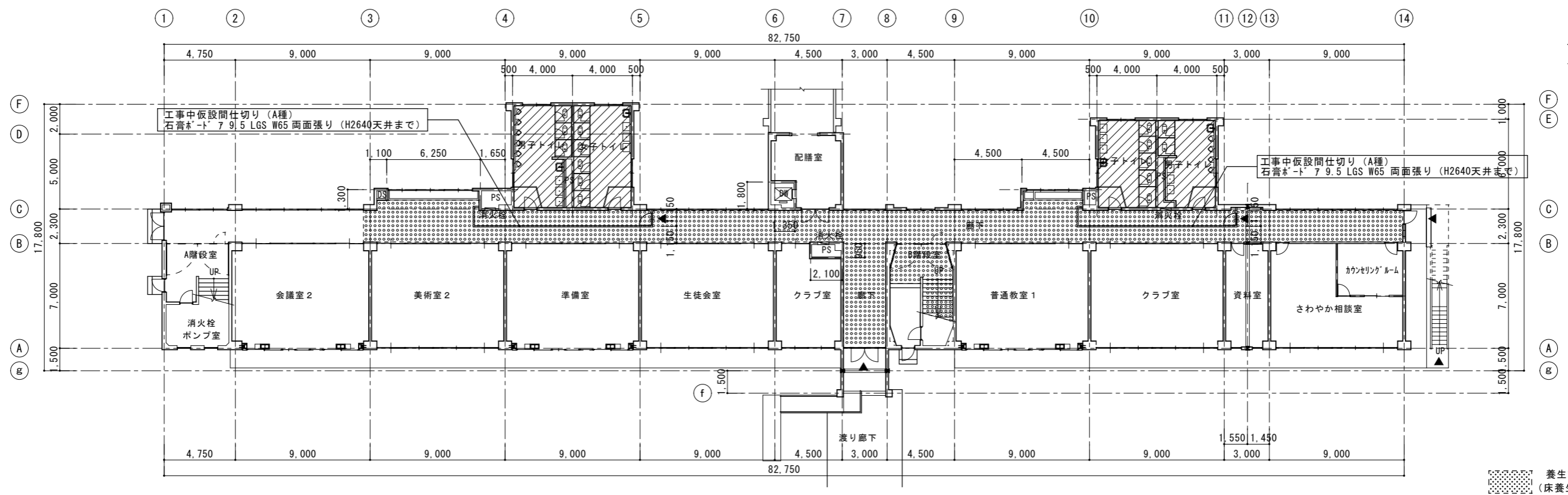
管理特別教室棟 1階平面図 S=1:60



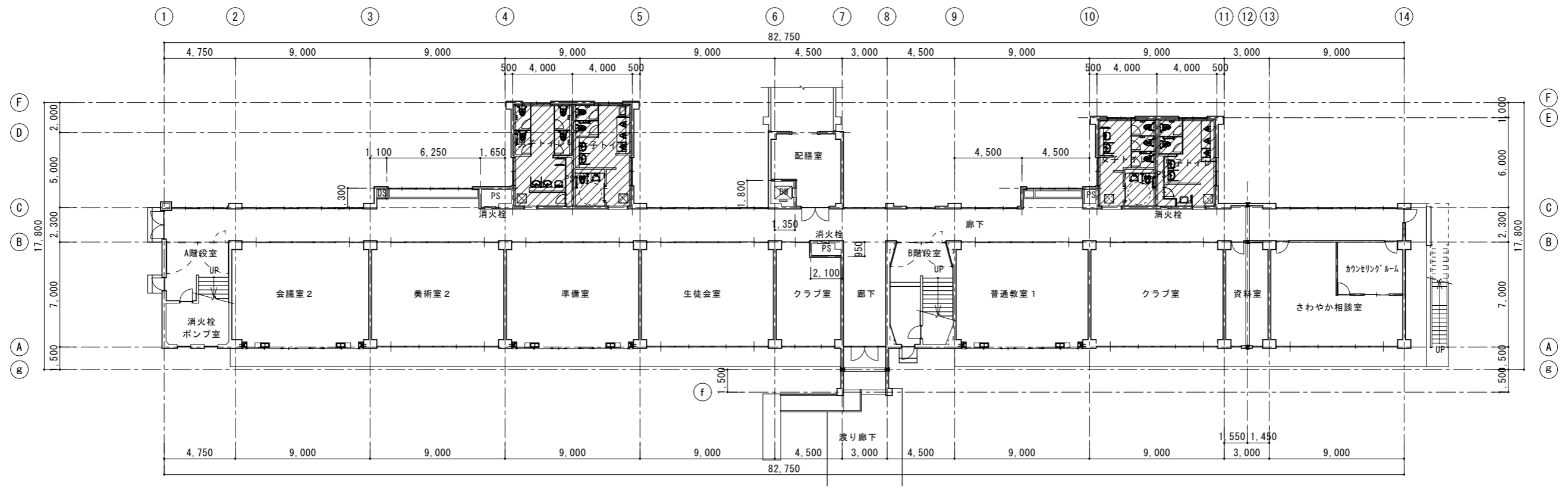
普通教室棟（西側）1階～4階平面図 S=1:60



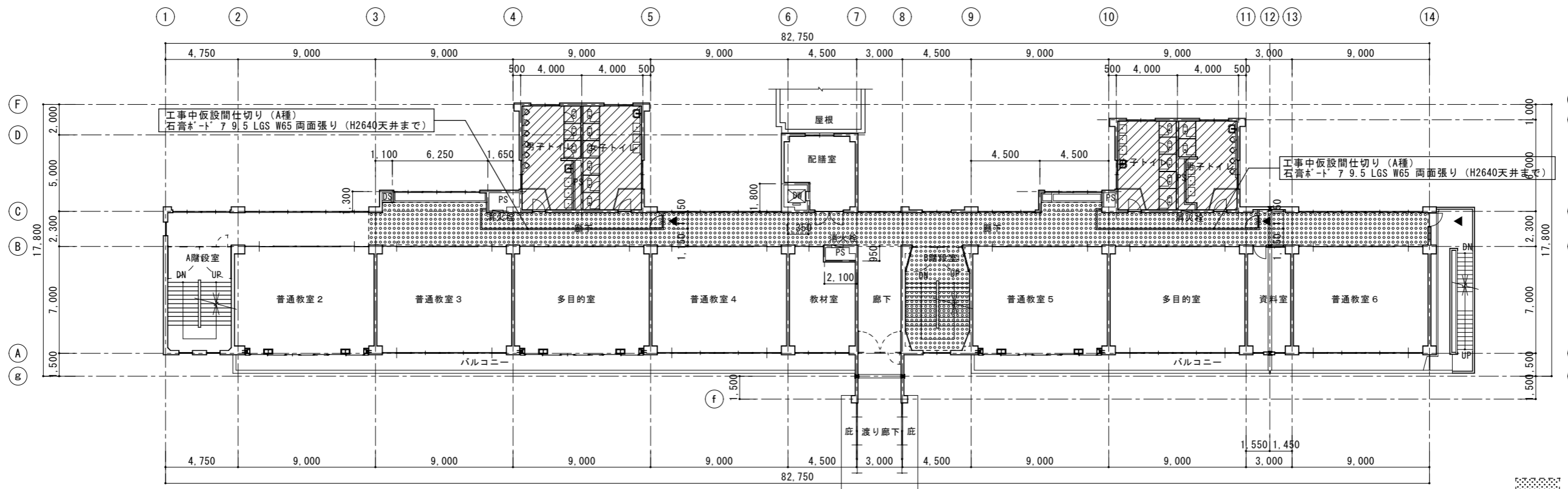
普通教室棟（東側）1階～4階平面図 S=1:60



改修前 普通教室棟 1階平面図 S=1:150



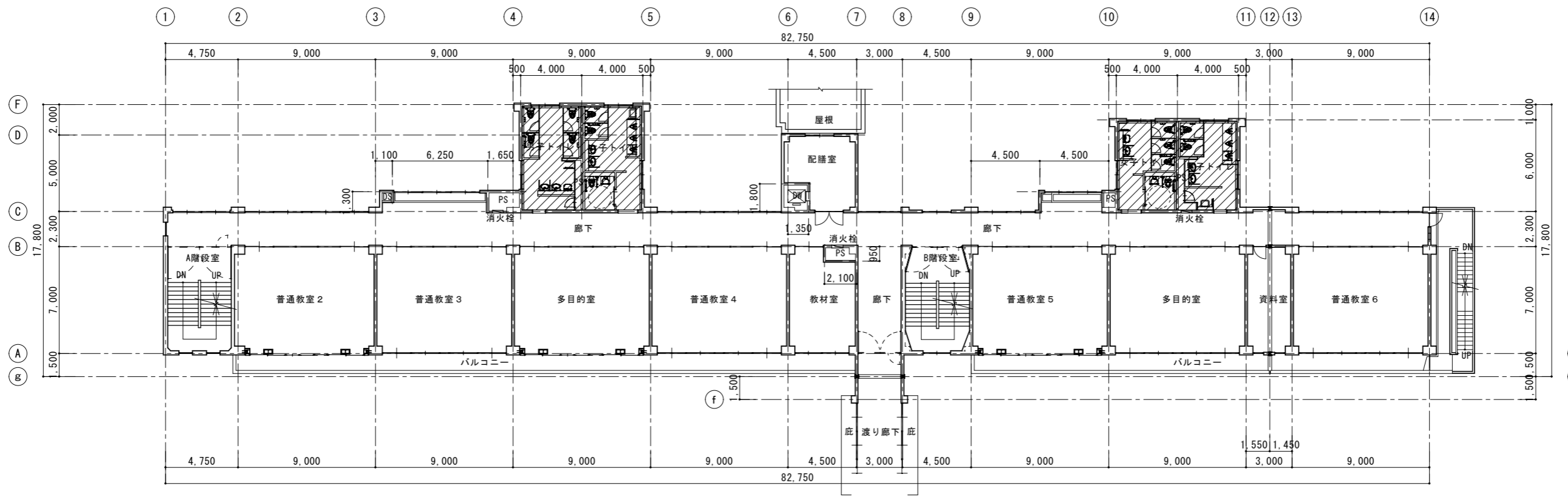
改修後 普通教室棟 1階平面図 S=1:150



養生範囲を示す。
(床養生シート貼り程度)

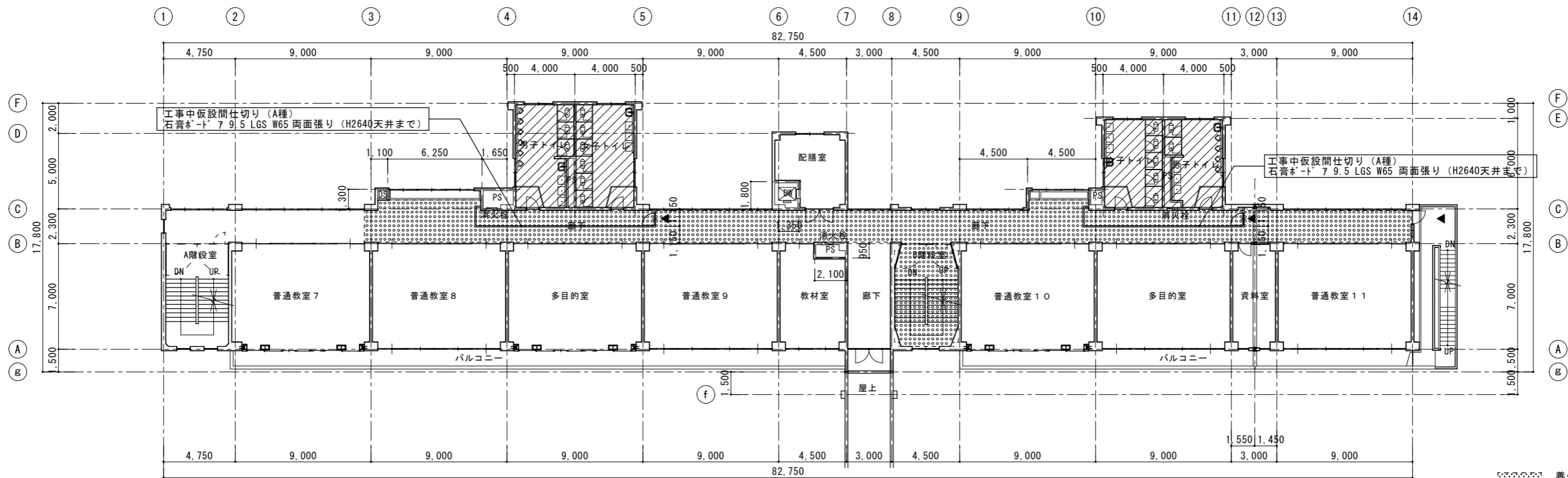
◀ : 工事出入口を示す。

改修前 普通教室棟 2階平面図 S=1:150

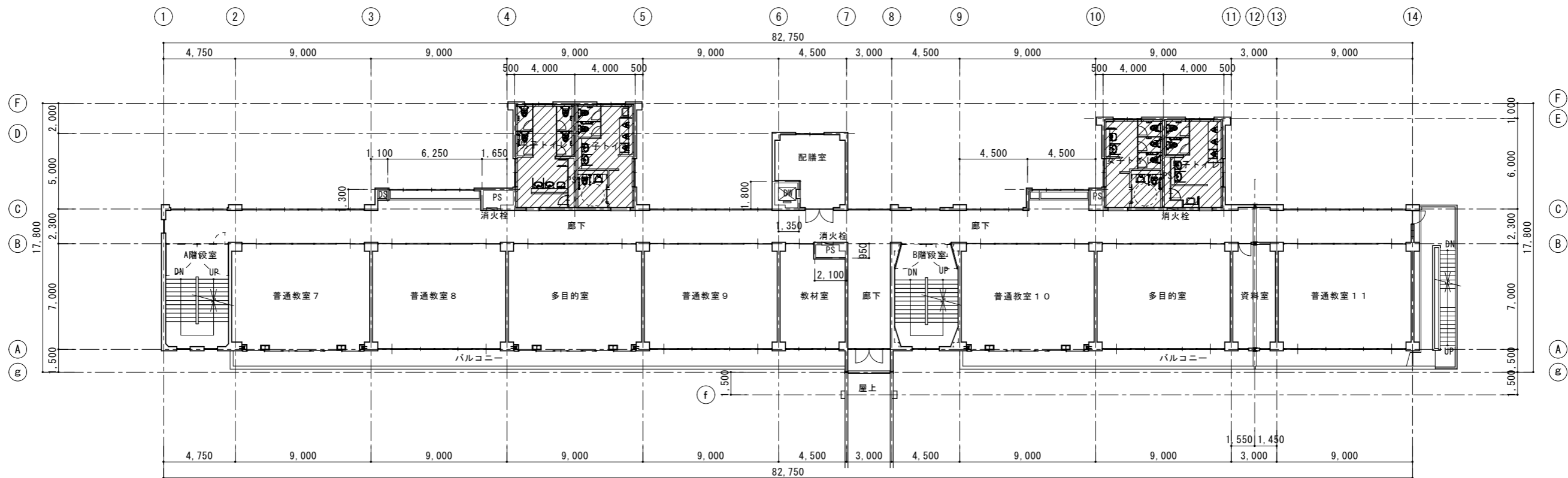


改修範囲を示す。

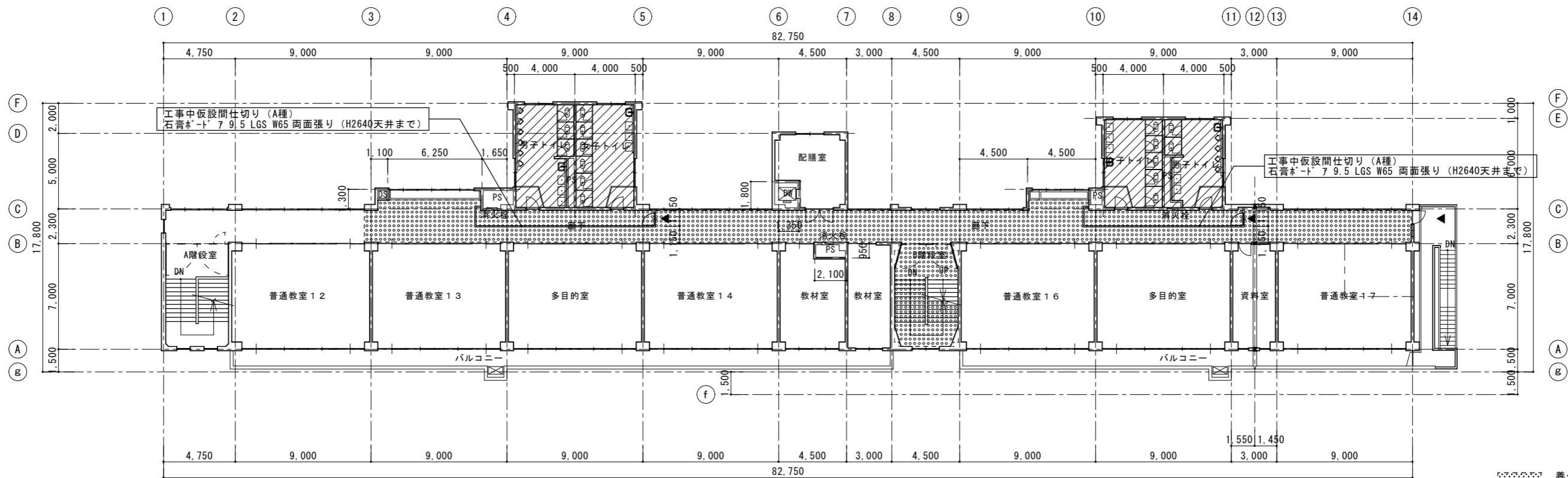
改修後 普通教室棟 2階平面図 S=1:150



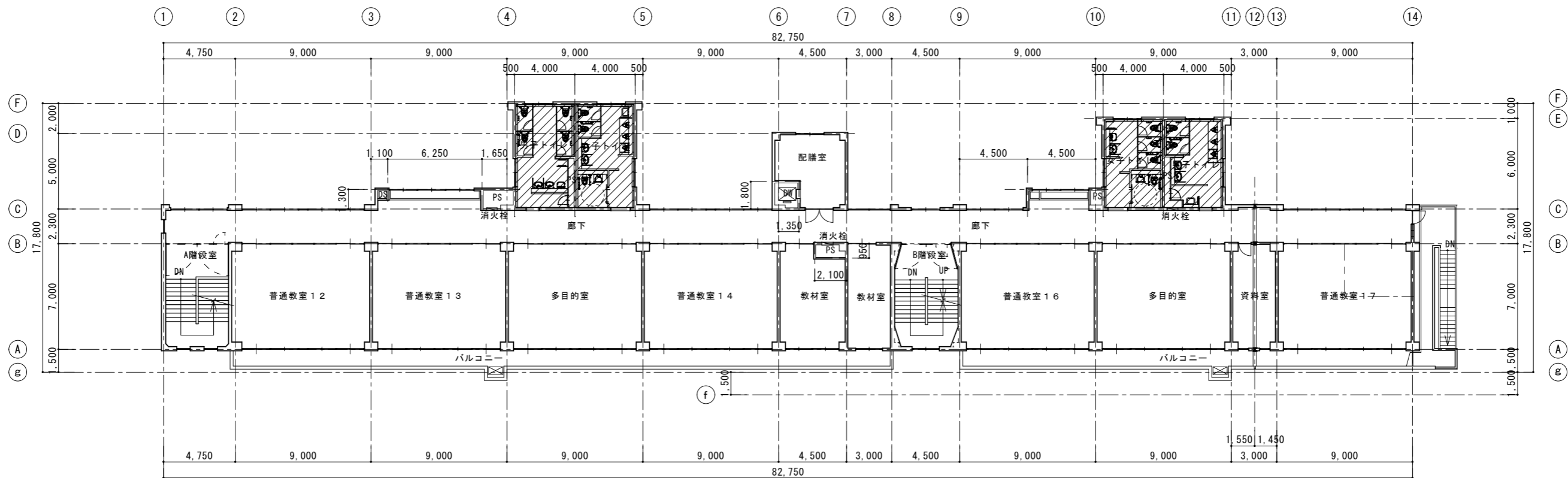
改修前 普通教室棟 3階平面図 S=1:150



改修後 普通教室棟 3階平面図 S=1:150



改修前 普通教室棟 4階平面図 S=1:150



改修後 普通教室棟 4階平面図 S=1:150

養生範囲を示す。
(床養生シート貼り程度)

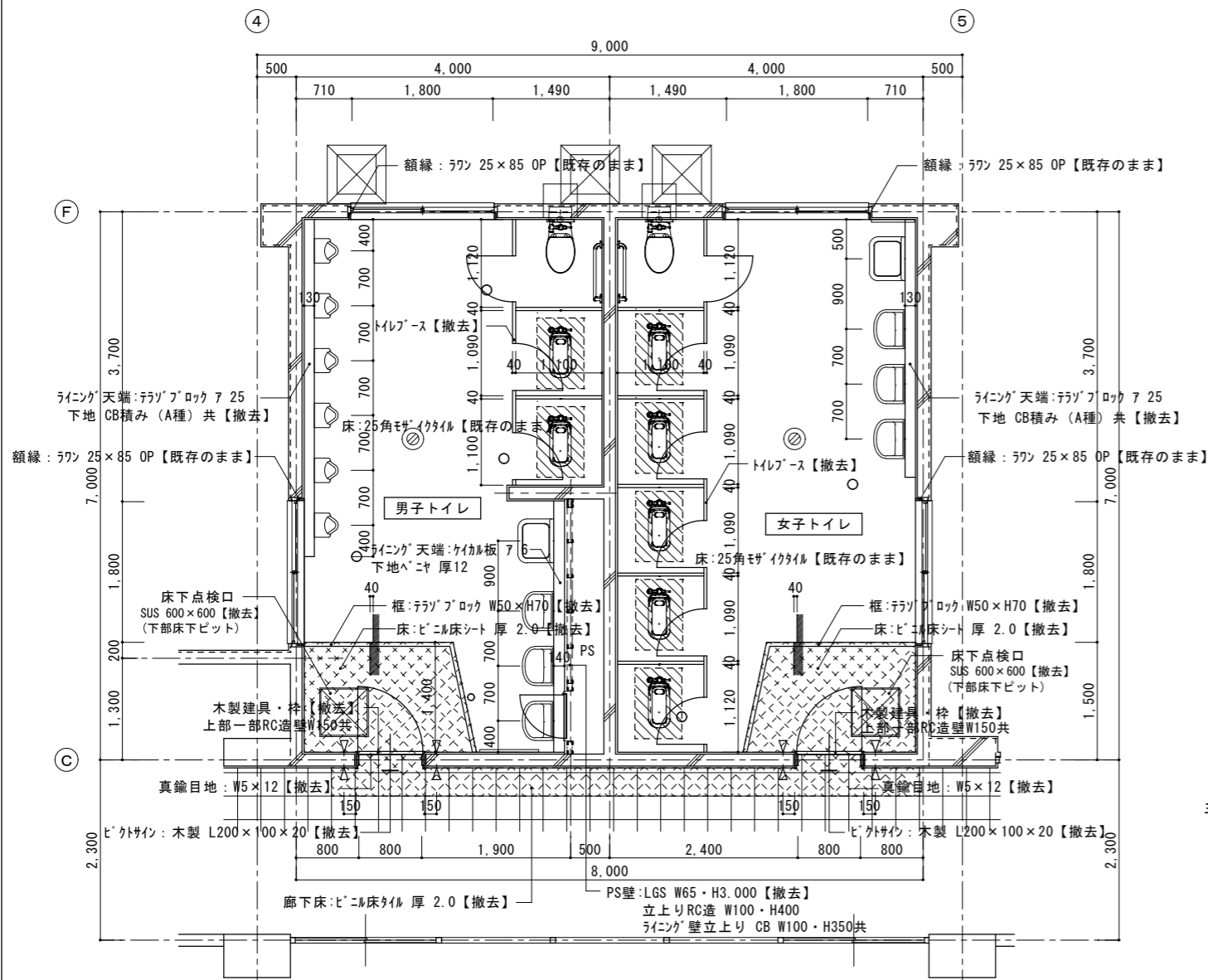
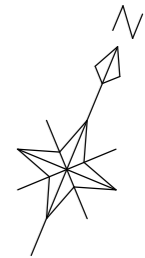
◀ : 工事出入口を示す。

改修範囲を示す。

普通教室棟（西側） トイレ仕上表

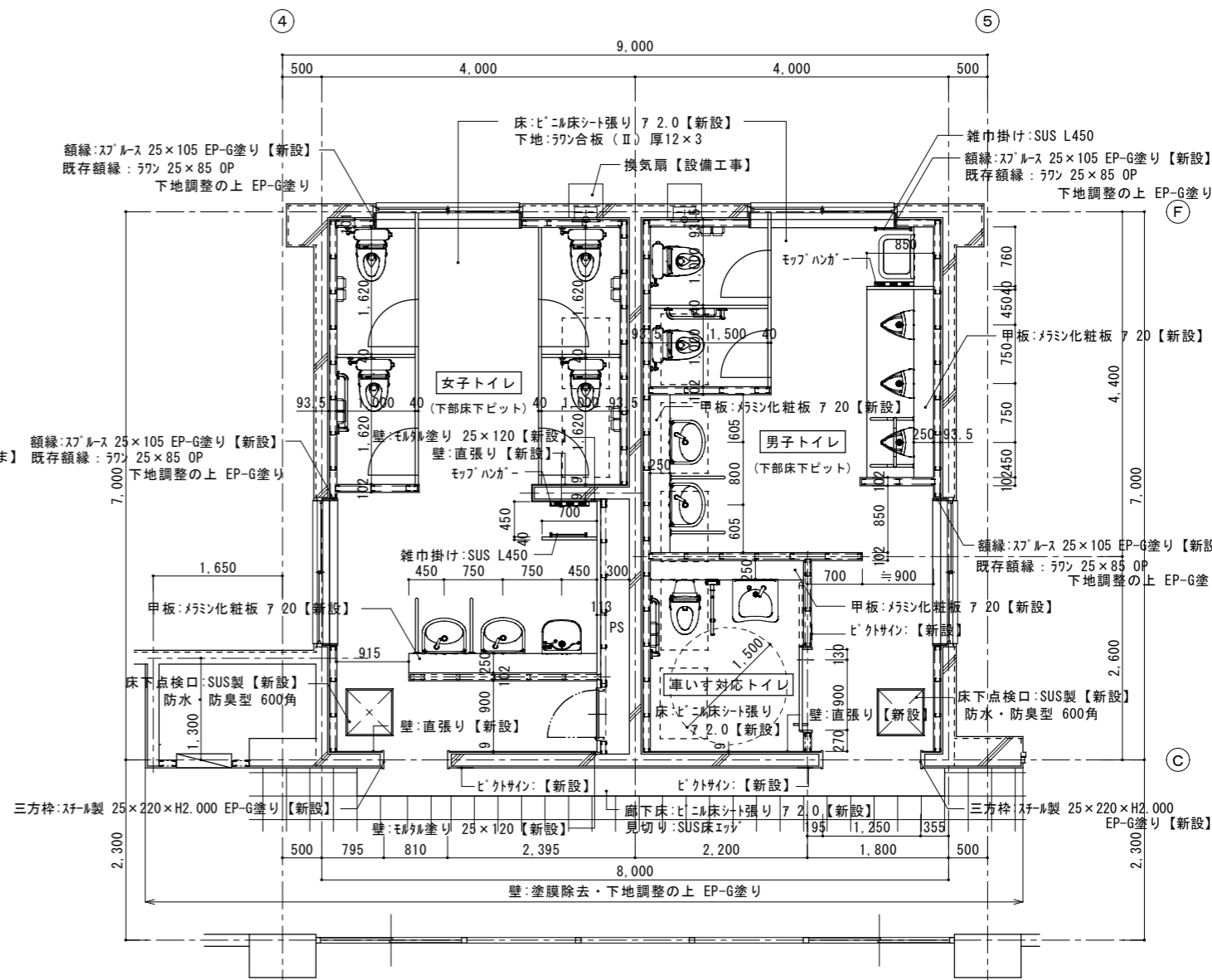
階	室名		床	巾木	腰壁	壁	天井	廻り縁	備考
								天井高	
1 2 4 階	男子	改修前	25角モザイクタイル【既存のまま】 踏込:ビニル床シート 厚 2.0【撤去】		100角磁器質タイル張り【既存のまま・一部撤去】	モルタル金銀 VP塗り【既存のまま】 (アスベスト含有レベル 3)	フキシフホド'張り 7 4 目透かし張り EP塗り【撤去】 LGS天井下地 野縁19形@300【撤去】 (レベル 3) 梁型:VP塗り【塗膜除去】 (1・2・3階のみ)	塩ビ製【撤去】 2,640	木製建具(木枠共)、トイレ'ス【撤去】 ライニング'天端:フライ'ブ'ロック 7 25【撤去】 下地 CB積み(A種)共【撤去】 床下点検口:600×600【撤去】1階のみ スチール製ロッカ【撤去】 衛生器具撤去【設備工事】
		改修後	ビニル床シート張り 7 2.0【新設】 下地:ラワン合板(Ⅱ)厚12×3 下地不陸調整 セルフレ'リング'材塗り 7 2~20 がが系下地調整剤塗布 トイレ用防滑性ビニル床シート張り 7 2.0【新設】 (男子トイレ内 小便器前尾垂部 色張替え L=600 既存床25角モザイクタイル:薬品清掃酸洗い	ビニル床シート巻上げ H-100【新設】 小便器前 H-80【新設】	化粧けい酸カルシウム板 7 6 (7ルミ'ヨイ'ナ'工法)【新設】 下地 GB-S 7 12.5 (不燃) LGS壁下地 65形 @ 450 一部化粧けい酸カルシウム板 7 6 直張り【新設】 モルタル面接着'ライマ'処理 小便器ライニング'部分:抗ウイルスマ'ミン'化粧板 7 3【新設】洗面・SKライニング'部分:マ'ミン'化粧板 7 3【新設】 下地 耐水合板 7 12+12 LGS壁下地 65形 @ 450 既存腰壁100角タイル:薬品清掃酸洗い	化粧石膏ホ'ト'張り 7 9.5 (不燃) 突付け張り工法 LGS天井下地 野縁19形@300共【新設】 天井点検口:7ルミ'製450角【新設】 梁型:下地調整の上 EP-G塗り	塩ビ製【新設】 2,640	三方枠:スチール製 25×220 EP-G塗り【新設】 額縁:スチール製 25×105 EP-G塗り【新設】 既存額縁:ラワン 25×85 下地調整の上EP-G塗り ビ'ク'サイン 150×150 (JIS Z 8210)、トイレ'ス【新設】 ライニング'天端:ホ'スト'フォーム マ'ミン'化粧板 7 20【新設】 雑巾かけ:SUS製 16角 L450、モ'フ'掛けハ'ル【新設】 床下点検口:600×600 (防水・防臭型)【新設】1階のみ 天井点検口:450×450 (7ルミ'製)【新設】 各手摺り、衛生器具取付は機械設備工事とする。	
		改修前	25角モザイクタイル【既存のまま】 踏込:ビニル床シート 厚 2.0【撤去】		100角磁器質タイル張り【既存のまま・一部撤去】	モルタル金銀 VP塗り【既存のまま】 (アスベスト含有レベル 3)	フキシフホド'張り 7 4 目透かし張り EP塗り【撤去】 LGS天井下地 野縁19形@300【撤去】 (レベル 3) 梁型:VP塗り【塗膜除去】 (1・2・3階のみ)	塩ビ製【撤去】 2,640	木製建具(木枠共)、トイレ'ス【撤去】 ライニング'天端:フライ'ブ'ロック 7 25【撤去】 下地 CB積み(A種)共【撤去】 床下点検口:600×600【撤去】1階のみ スチール製ロッカ【撤去】 衛生器具撤去【設備工事】
		改修後	ビニル床シート張り 7 2.0【新設】 下地:ラワン合板(Ⅱ)厚12×3 下地不陸調整 セルフレ'リング'材塗り 7 2~20 がが系下地調整剤塗布 既存床25角モザイクタイル:薬品清掃酸洗い	ビニル床シート巻上げ H-100【新設】	化粧けい酸カルシウム板 7 6 (7ルミ'ヨイ'ナ'工法)【新設】 下地 GB-S 7 12.5 (不燃) LGS壁下地 65形 @ 450 一部化粧けい酸カルシウム板 7 6 直張り【新設】 洗面ライニング'部分:マ'ミン'化粧板 7 3【新設】 下地 耐水合板 7 12+12 LGS壁下地 65形 @ 450 既存腰壁100角タイル:薬品清掃酸洗い	化粧石膏ホ'ト'張り 7 9.5 (不燃) 突付け張り工法 LGS天井下地 野縁19形@300共【新設】 天井点検口:7ルミ'製450角【新設】 梁型:下地調整の上 EP-G塗り	塩ビ製【新設】 2,640	三方枠:スチール製 25×220 EP-G塗り【新設】 額縁:スチール製 25×105 EP-G塗り【新設】 既存額縁:ラワン 25×85 下地調整の上EP-G塗り ビ'ク'サイン 150×150 (JIS Z 8210)、トイレ'ス【新設】 ライニング'天端:ホ'スト'フォーム マ'ミン'化粧板 7 20【新設】 雑巾かけ:SUS製 16角 L450、モ'フ'掛けハ'ル【新設】 床下点検口:600×600 (防水・防臭型)【新設】1階のみ 天井点検口:450×450 (7ルミ'製)【新設】 各手摺り、衛生器具取付は機械設備工事とする。	
	車椅子 対応トイレ	改修前	女子トイレに準じる		女子トイレに準じる		女子トイレに準じる		女子トイレに準じる
		改修後	ビニル床シート張り 7 2.0【新設】 下地調整 セルフレ'リング'材塗り 7 0.6 がが系下地調整剤塗布	ビニル床シート巻上げ H-100【新設】	化粧けい酸カルシウム板 7 6 (7ルミ'ヨイ'ナ'工法)【新設】 下地 GB-S 7 12.5 (不燃) LGS壁下地 65形 @ 450 一部化粧けい酸カルシウム板 7 6 直張り【新設】 モルタル面接着'ライマ'処理 便器・洗面ライニング'部分:マ'ミン'化粧板 7 3【新設】 下地 耐水合板 7 12+12 LGS壁下地 65形 @ 450 既存腰壁100角タイル:薬品清掃酸洗い	化粧石膏ホ'ト'張り 7 9.5 (不燃) 突付け張り工法 LGS天井下地 野縁19形@300共【新設】 天井点検口:7ルミ'製450角【新設】 梁型:下地調整の上 EP-G塗り	塩ビ製【新設】 2,640	ビ'ク'サイン 150×150 (JIS Z 8210) ライニング'天端:ホ'スト'フォーム マ'ミン'化粧板 7 20【新設】	
	PS	改修前			GB-S 7 12.5+9.5 EP塗装 LGS壁下地 65形 @ 450共【撤去】				ライニング'天端:化粧ケイ'カル'板 7 6 下地:ベ'ニ'合板 7 12
		改修後			化粧けい酸カルシウム板 6 下地:GB-F 21+21【新設】 LGS壁下地 65形 @ 450				
	廊下	改修前	ビニル床タイル 7 2.0【一部撤去】	ラワン OP塗り H100	モルタル金銀 VP塗り (アスベスト含有レベル 3)		石こうホ'ト'目透かし張り 7 9 EP塗り 【既存のまま】	塩ビ製(既存のまま) 2,640	木製建具廻りモルタル金銀一部 カッター入り【撤去】
		改修後	ビニル床シート張り 7 2.0【一部新設】 下地調整 セルフレ'リング'材塗り 7 0.6【一部新設】 がが系下地調整剤塗布	下地調整の上 EP-G塗り 【一部新設】	VP塗り【一部塗膜除去】 下地調整の上 EP-G塗り【一部新設】		【既存のまま】		木製建具廻り一部モルタル金銀補修【一部新設】 床見切り:SUS床エッジ【新設】

凡例				
合成AEMP塗:アクリル系合成樹脂エマルジョンペイント	SOP 合成樹脂調合ペイント塗り	UC ウレタン樹脂ワニス塗り	図示材料は下記防火認定品を使用すること。	
アスベスト含有レベル 3 (クリタイル含有・下地調整材に含有)	CL クリアツッカー塗り		不燃マ'ミン'化粧板 7 3 不燃 NM-2183号	有孔石膏ホ'ト' 7 9.5 準不燃 QM-9827号
	DP 耐候性塗料塗り		不燃化粧石膏ホ'ト' 7 9.5 不燃 NM-1864号	
	EP-G つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り		石膏ホ'ト' 7 12.5 不燃 NM-8619号	
	EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り		シー'ジ'ン'石膏ホ'ト' 7 12.5 不燃 NM-9639号	



▷:木製建具廻りモルタル金縷・タイル張り一部 カッター入り【撤去】

改修前 普通教室棟（西側）1階トイレ平面詳細図 S=1:40



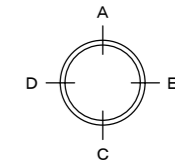
改修後 普通教室棟（西側）1階トイレ平面詳細図 S=1:40

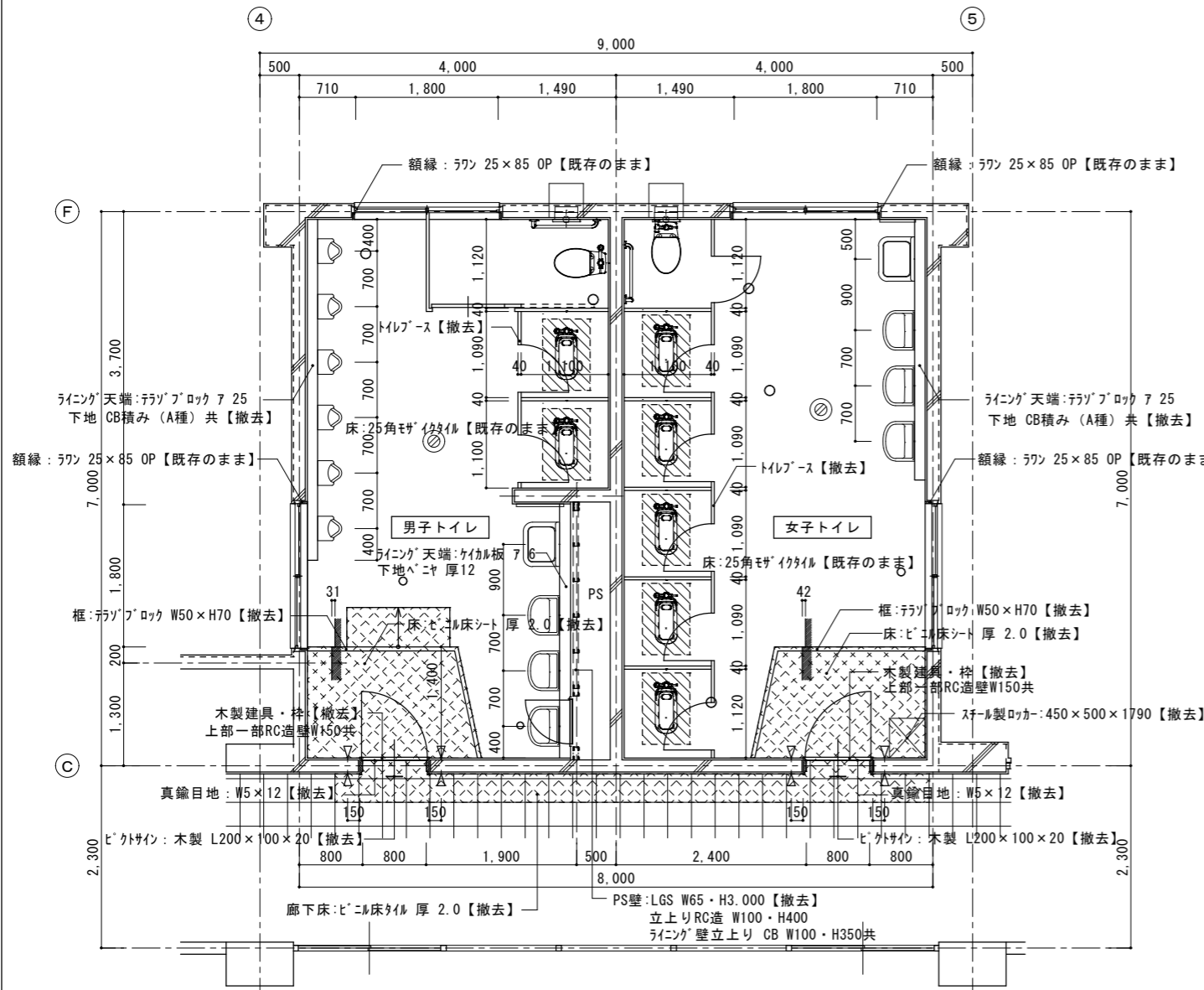
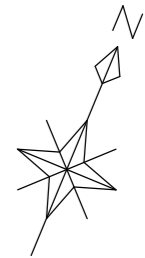
※和便器開口閉塞
 便器部分スラブ【撤去】
 900×600 7 150 カッター入り
 25角モザイクタイル・押えコンクリート
 アスファルト防水層・均しモルタル【撤去】
 900×600 7 100 カッター入り

※和便器開口閉塞
 コンクリート打込み【新設】
 7 150 21N/mm2 スラップ18cm
 鉄筋 D13 @200 フレッシュ溶接接合

共通事項
 撤去しない既存タイル張り（床・壁）は酸洗いをを行う。 モップ掛け（ABS製）・雑巾掛け（SUS製）【新設】
 AW:建具調整・クレセント調整・ガラス清掃 洋便器、小便器、洗面器、樹脂製手摺、換気扇【設備工事】
 三方枠廻りモルタル金縷補修

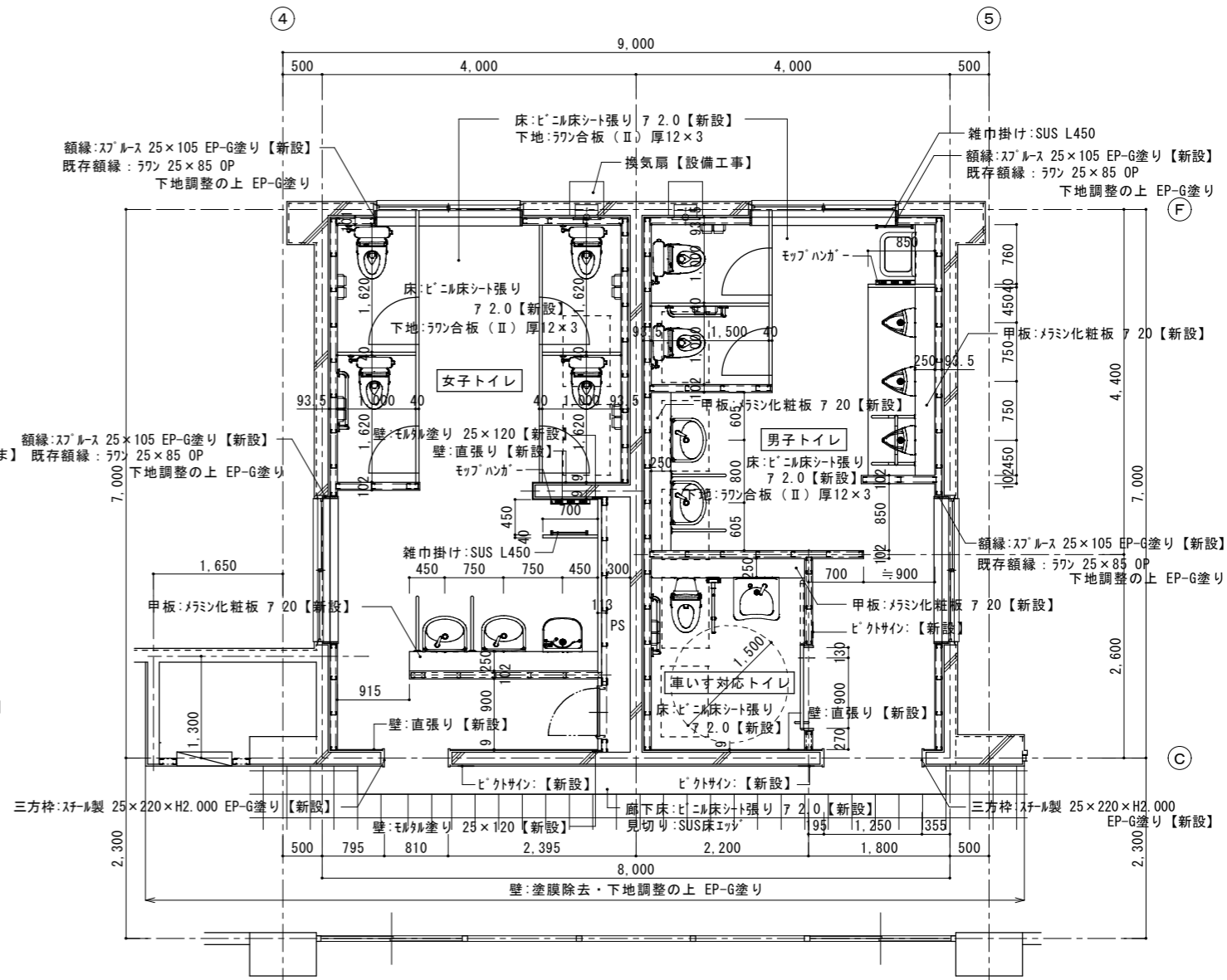
600



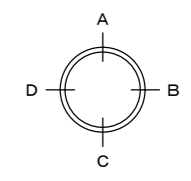


▷: 木製建具廻りモルタル金鍍・タイル張り一部 カッター入り【撤去】

改修前 普通教室棟 (西側) 2階トイレ平面詳細図 S=1:40



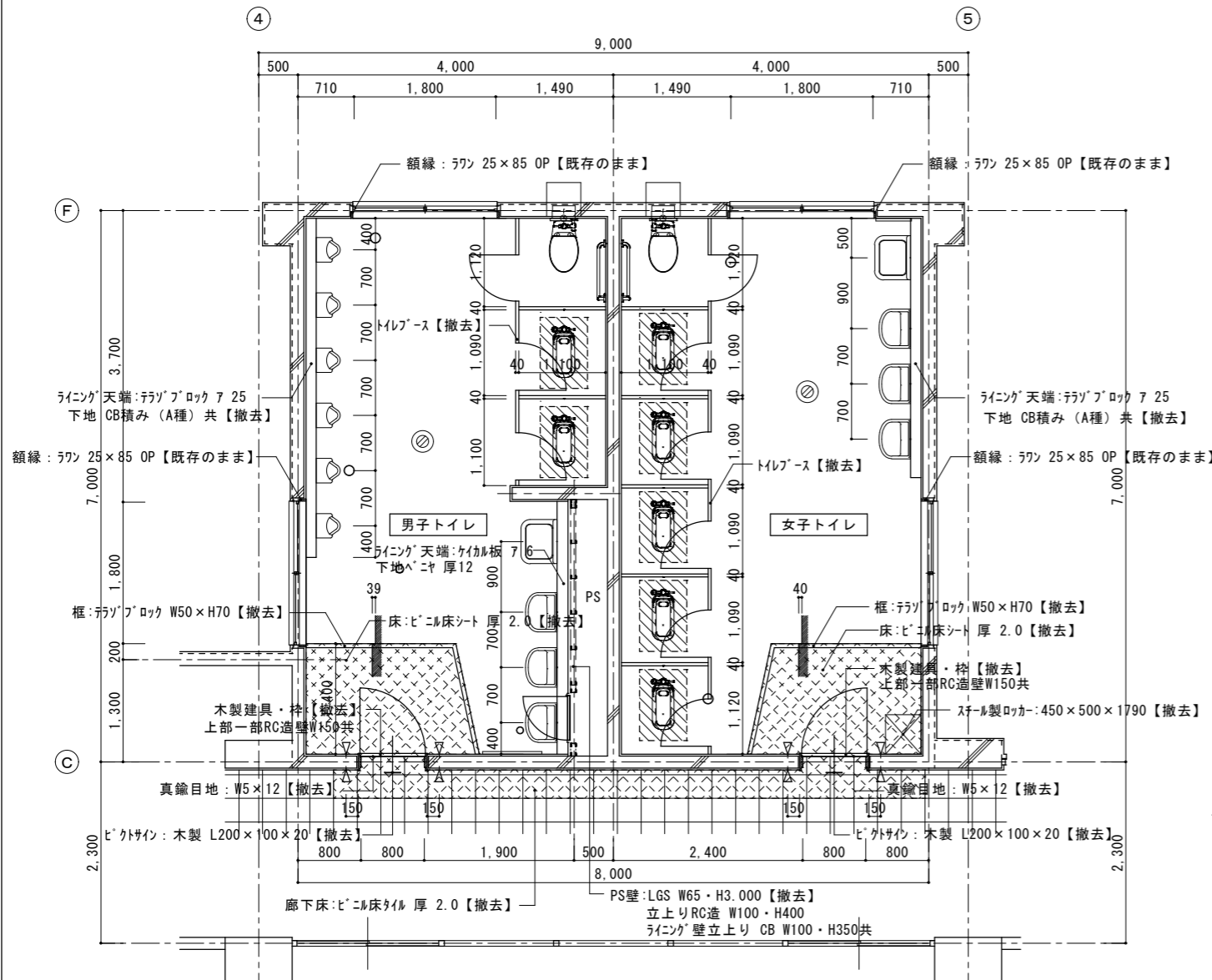
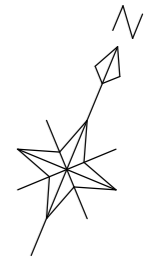
改修後 普通教室棟 (西側) 2階トイレ平面詳細図 S=1:40



※和便器開口閉塞
 便器部分スラブ【撤去】
 900×600 7 150 カッター入り
 25角モザイクタイル・押えコンクリート
 アスファルト防水層・均しモルタル【撤去】
 900×600 7 100 カッター入り

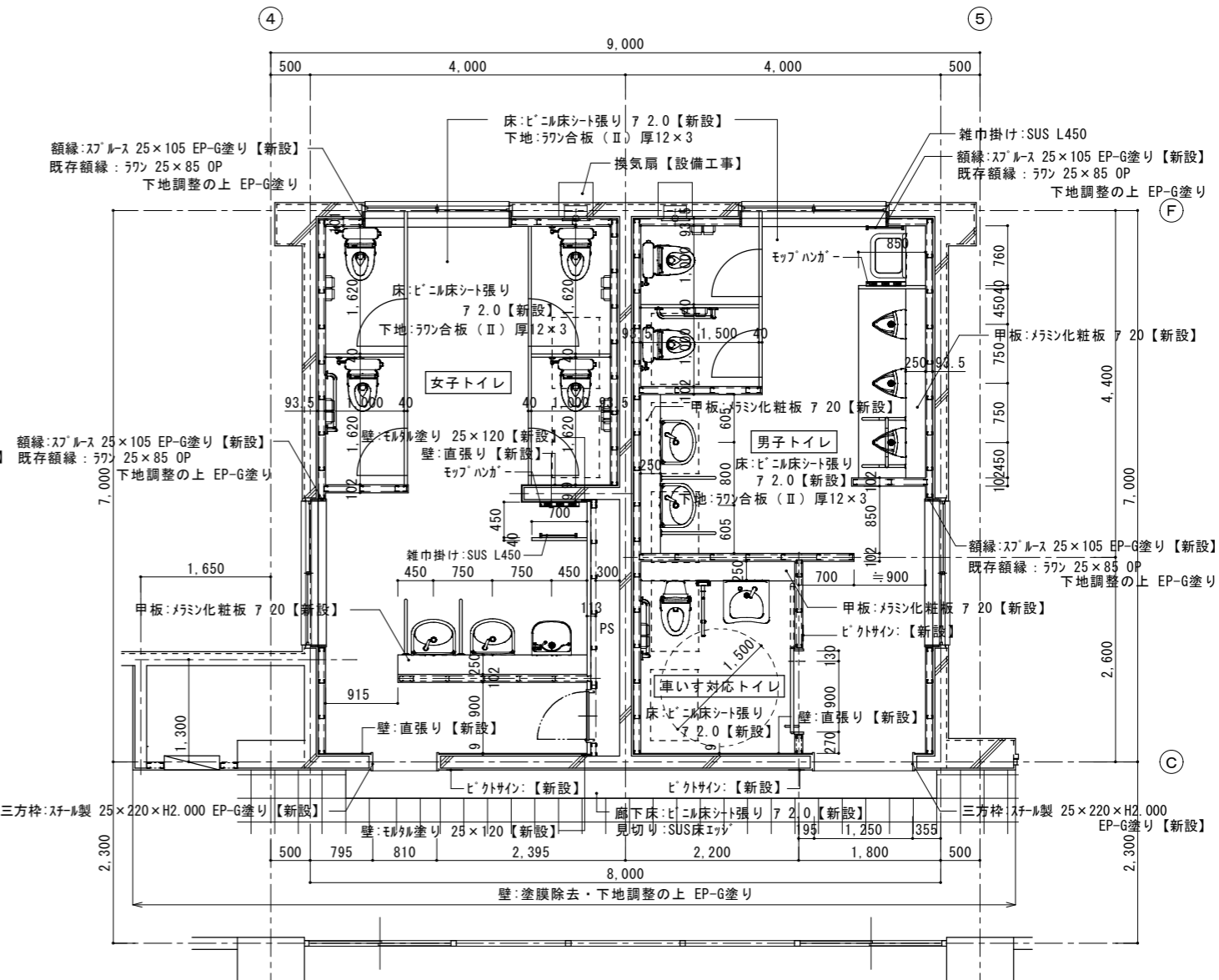
※和便器開口閉塞
 コンクリート打込み【新設】
 7 150 21N/mm2 スラップ 18cm
 鉄筋 D13 @200 フレッシュ溶接接合

共通事項
 撤去しない既存タイル張り (床・壁) は酸洗いをを行う。 モップ掛け (ABS製)・雑巾掛け (SUS製)【新設】
 AW: 建具調整・クレセント調整・ガラス清掃 洋便器、小便器、洗面器、樹脂製手摺、換気扇【設備工事】
 三方枠廻りモルタル金鍍補修

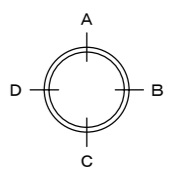


▷ : 木製建具廻りモルタル金縷・タイル張り一部 カッター入り【撤去】

改修前 普通教室棟 (西側) 3階トイレ平面詳細図 S=1:40



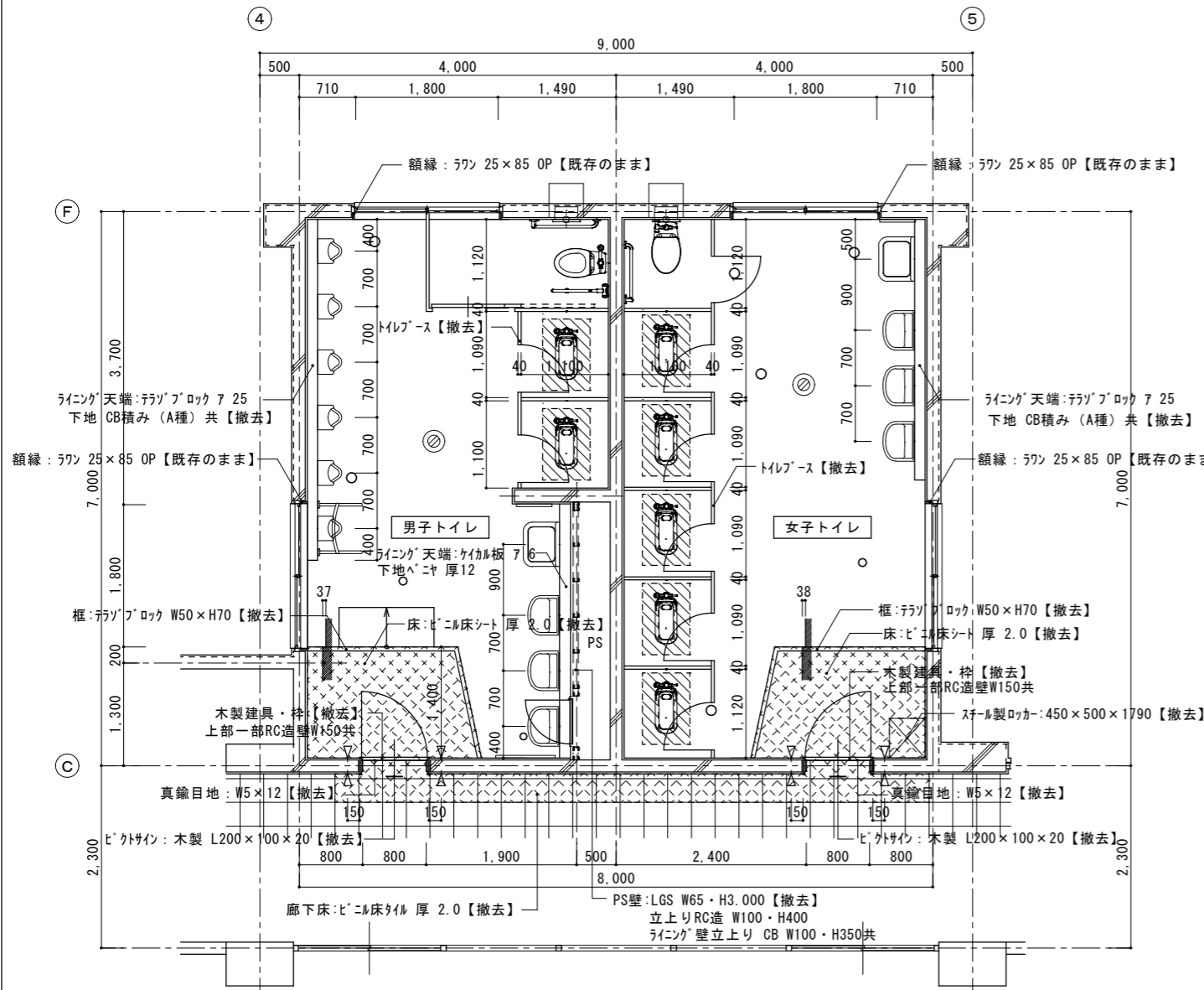
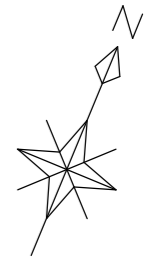
改修後 普通教室棟 (西側) 3階トイレ平面詳細図 S=1:40



※和便器開口閉塞
 便器部分スラブ【撤去】
 900×600 7 150 カッター入り
 25角モザイクタイル・押えコンクリート
 アスファルト防水層・均しモルタル【撤去】
 900×600 7 100 カッター入り

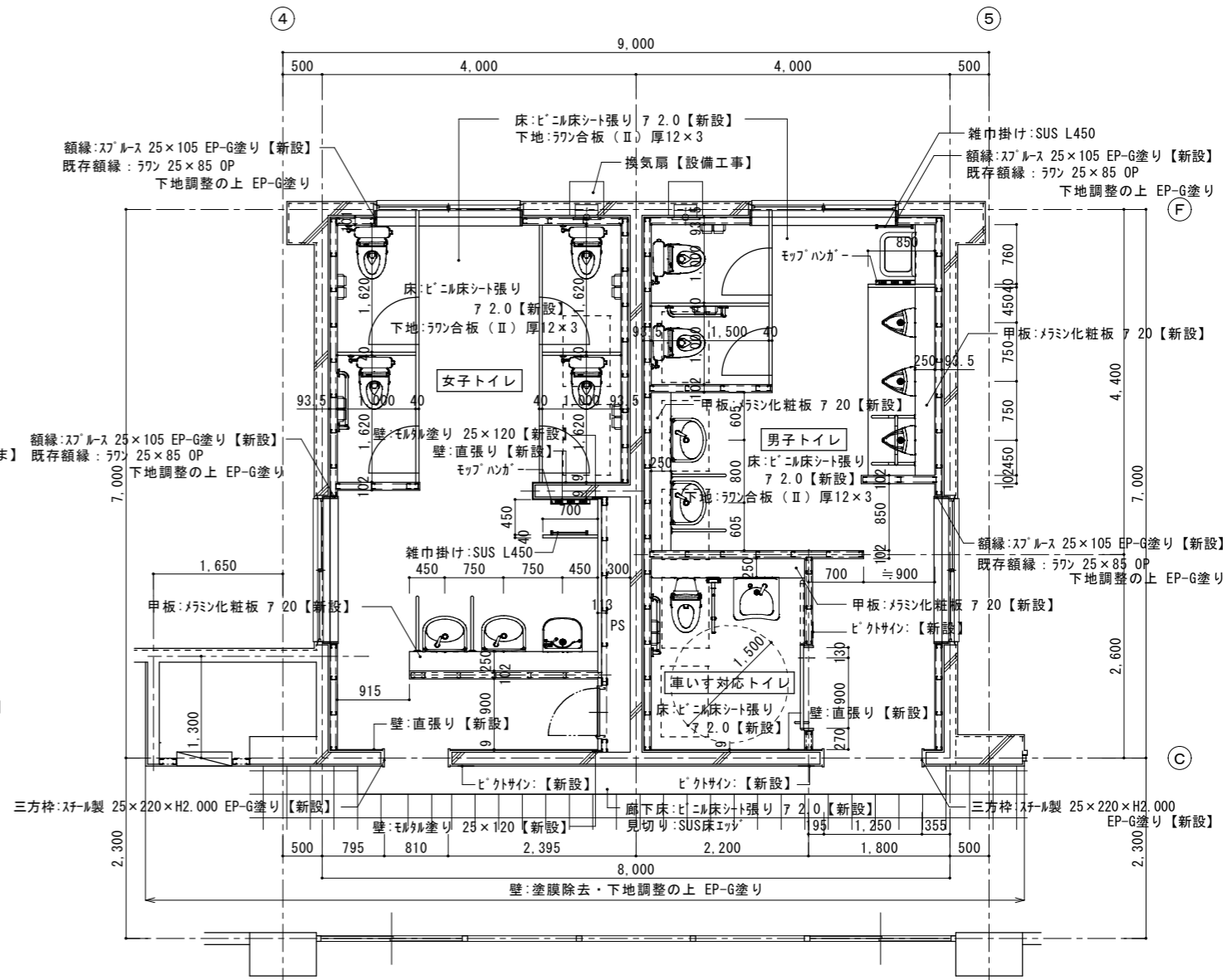
※和便器開口閉塞
 コンクリート打込み【新設】
 7 150 21N/mm² スラップ 18cm
 鉄筋 D13 @200 フレッシュ溶接接合

共通事項
 撤去しない既存タイル張り (床・壁) は酸洗いをを行う。 モップ掛け (ABS製) ・雑巾掛け (SUS製) 【新設】
 AW: 建具調整・クレセント調整・ガラス清掃 洋便器、小便器、洗面器、樹脂製手摺、換気扇【設備工事】
 三方枠廻りモルタル金縷補修



▷: 木製建具廻りモルタル金網・タイル張り一部 カッター入り【撤去】

改修前 普通教室棟 (西側) 4階トイレ平面詳細図 S=1:40

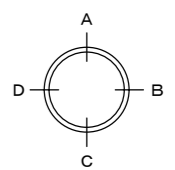


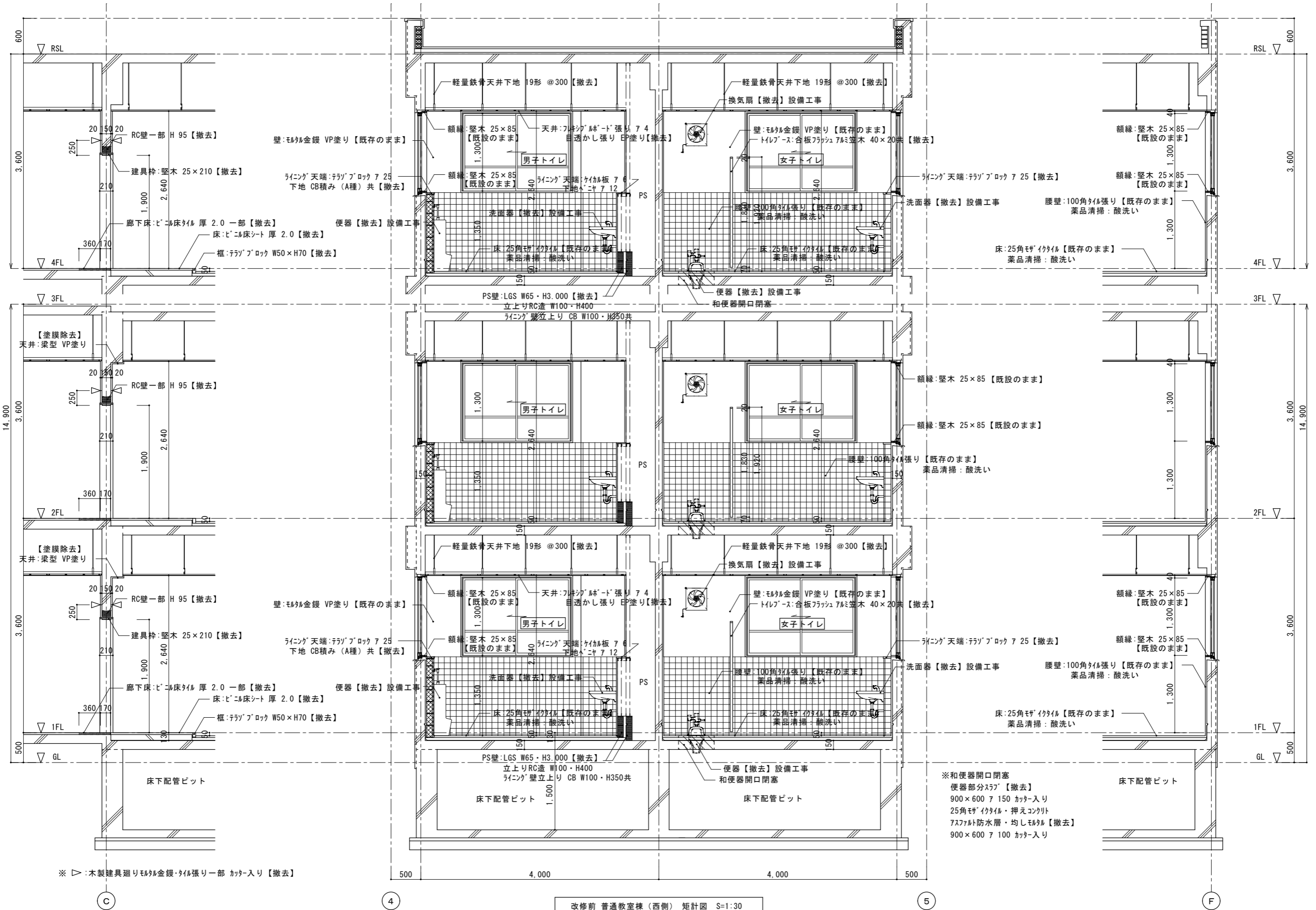
改修後 普通教室棟 (西側) 4階トイレ平面詳細図 S=1:40

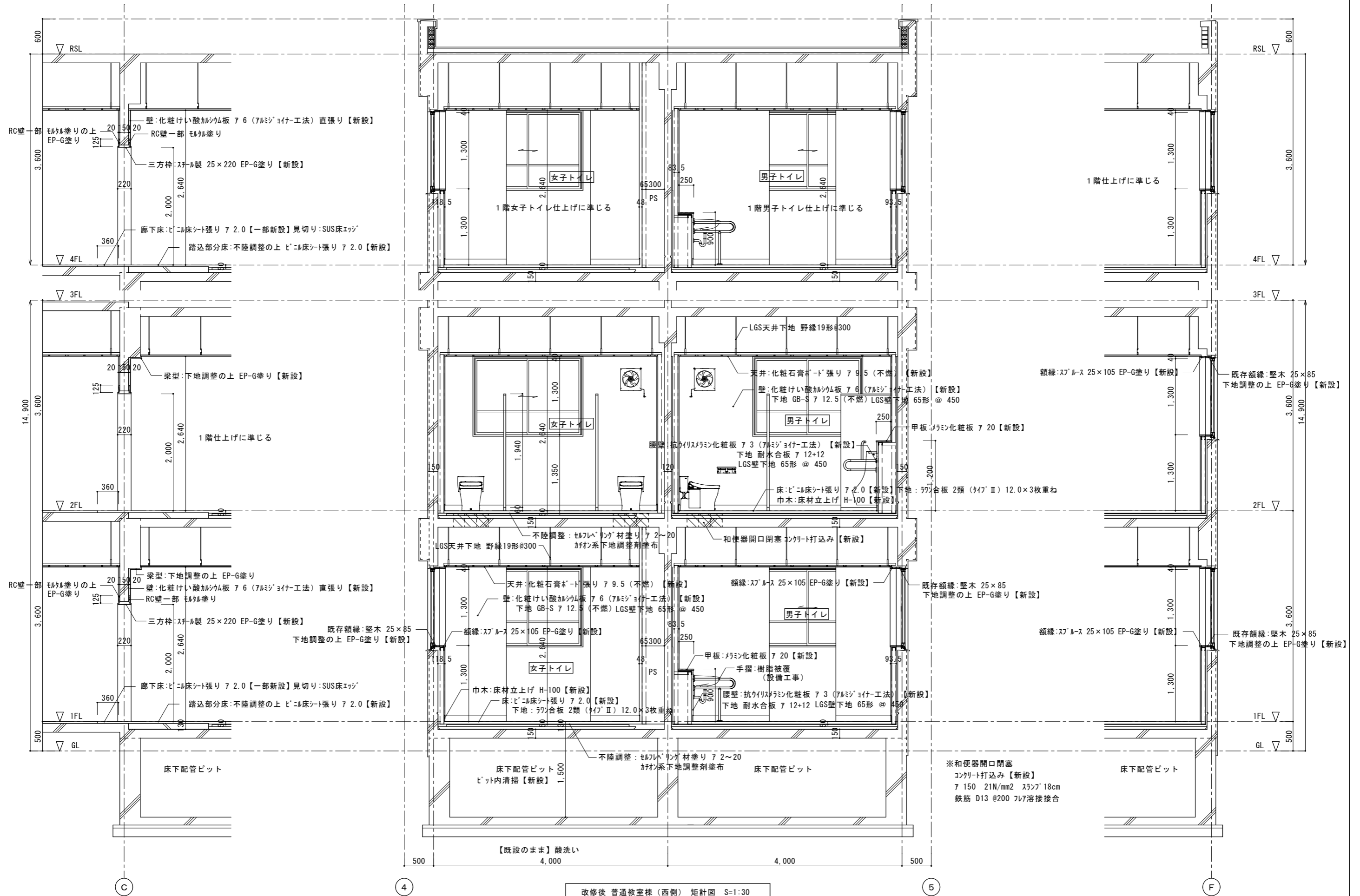
※和便器開口閉塞
 便器部分スラブ【撤去】
 900×600 7 150 カッター入り
 25角モザイクタイル・押えコンクリート
 アスファルト防水層・均しモルタル【撤去】
 900×600 7 100 カッター入り

※和便器開口閉塞
 コンクリート打込み【新設】
 7 150 21N/mm2 スラップ 18cm
 鉄筋 D13 @200 フレッシュ溶接接合

共通事項
 撤去しない既存タイル張り (床・壁) は酸洗いをを行う。 モップ掛け (ABS製)・雑巾掛け (SUS製)【新設】
 AW: 建具調整・クレセント調整・ガラス清掃 洋便器、小便器、洗面器、樹脂製手摺、換気扇【設備工事】
 三方枠廻りモルタル金網補修







改修後 普通教室棟 (西側) 矩計図 S=1:30

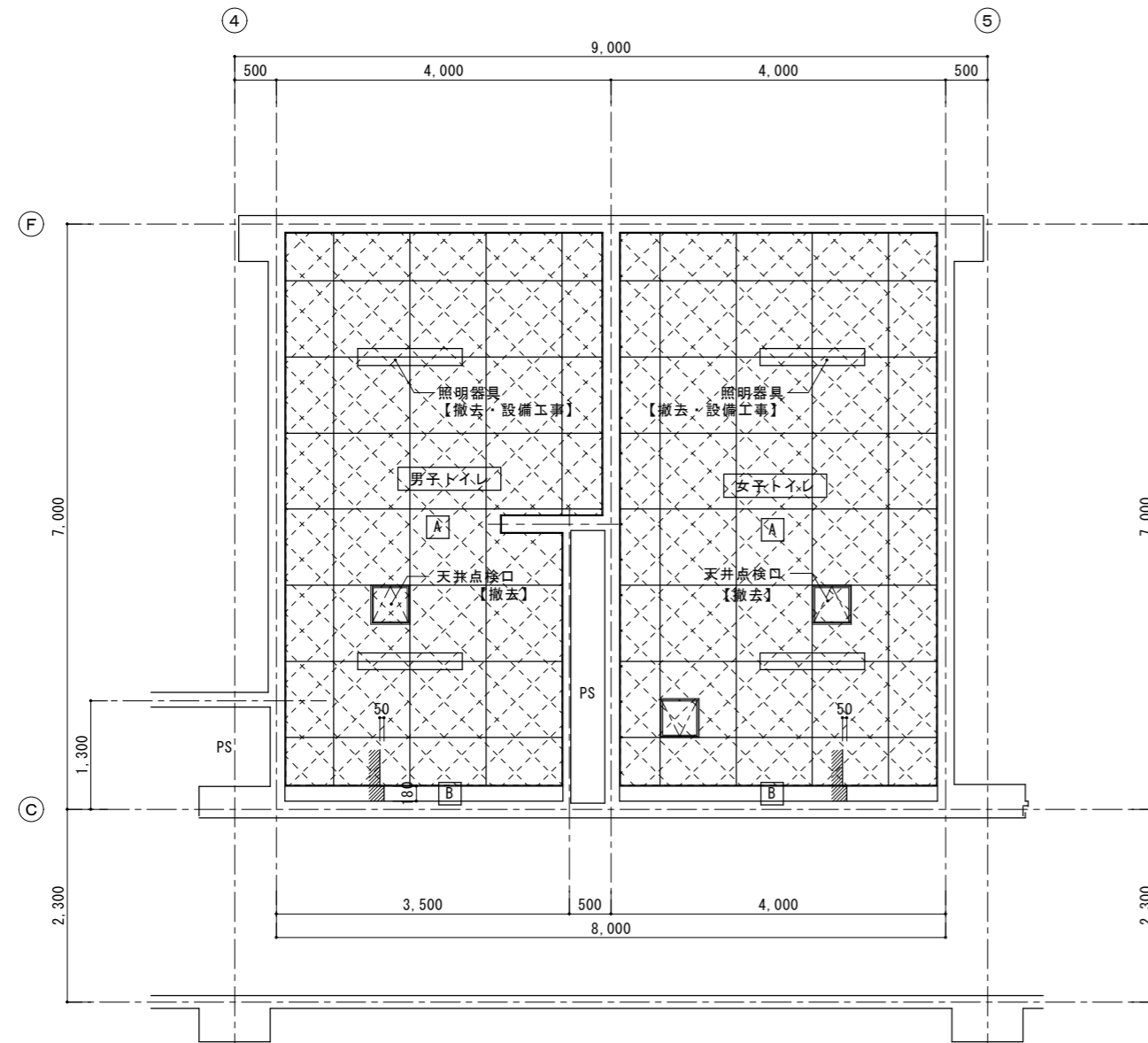
天井仕上表	
	フレスコ・木目張り 7 4 目筋張り EP塗り【撤去】 (レ#3)
A	廻縁:塩ビ製【撤去】
	軽量鉄骨天井下地 野縁19形@300【撤去】
備考	天井点検口:7#製 450角【撤去】



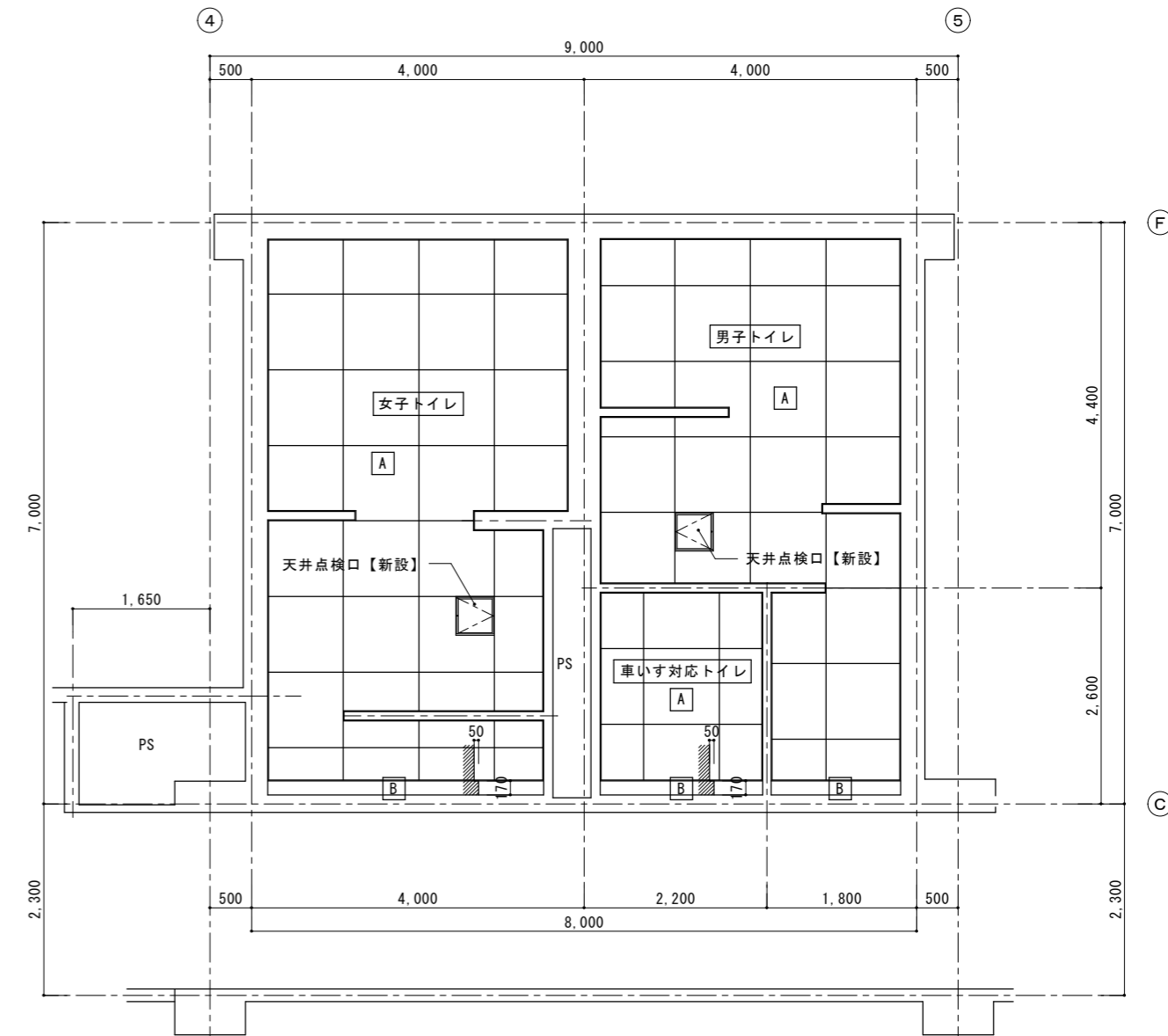
撤去範囲を示す。

天井点検口	男子	女子
	1階	1
2階	3	1
3階	2	1
4階	1	1
計	7	5

天井仕上表	
	化粧石膏ボード張り 7 9.5 不燃 突付け張り工法【新設】
A	廻縁:塩ビ製【新設】
	軽量鉄骨天井下地 野縁19形@300【新設】
備考	天井点検口:7#製縁付 450角【新設】
	点検口設置位置は打合せによる。

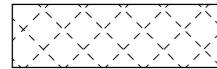


改修前 普通教室棟(西側) 1階~3階トイレ天井伏図 S=1:40



改修後 普通教室棟(西側) 1階~3階トイレ天井伏図 S=1:40

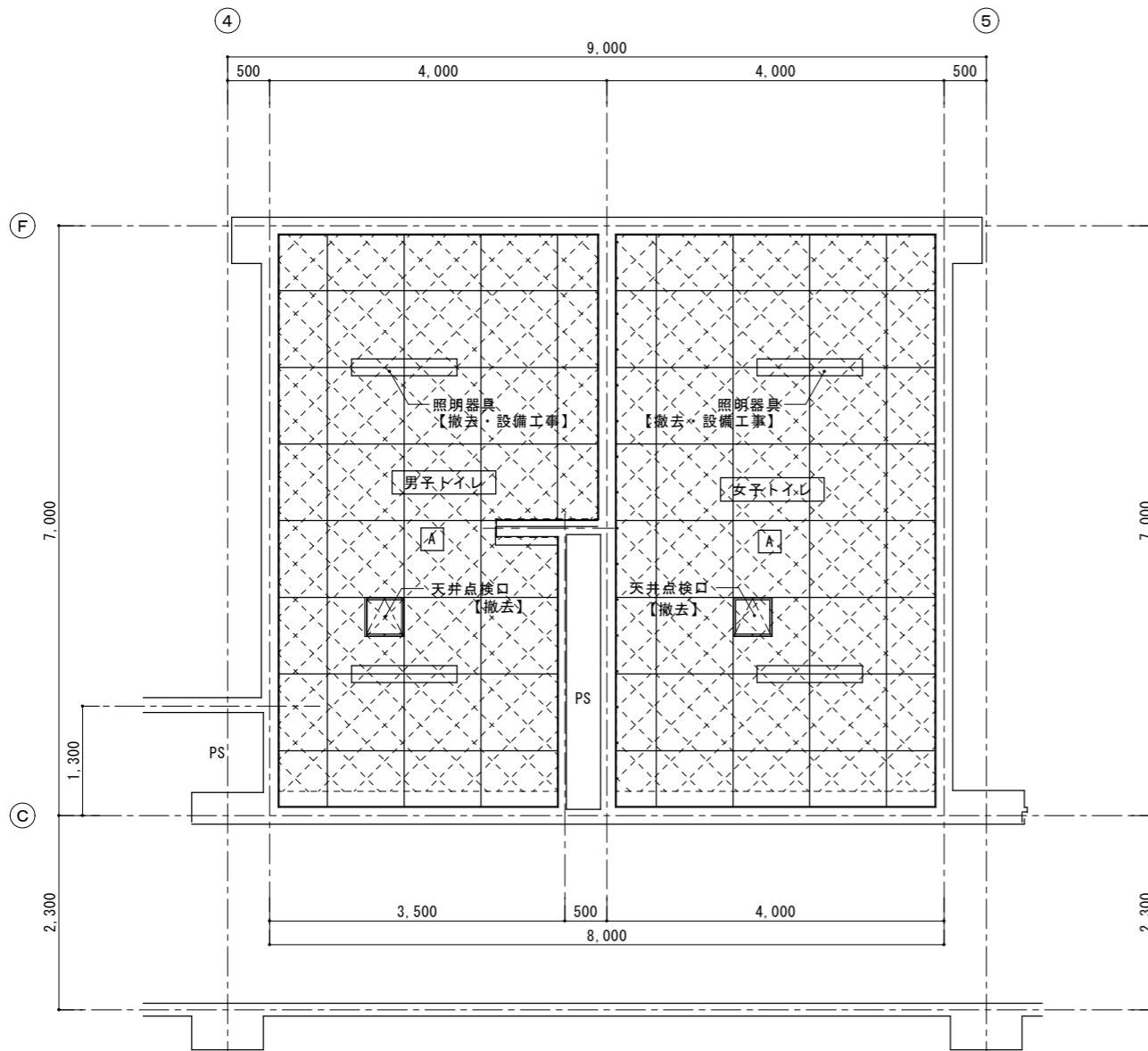
天井仕上表	
A	フレスコ・木目張り 7 4 目 300 張り EP 塗り 【撤去】 (レバ' #3)
	廻縁:塩ビ製 【撤去】
	軽量鉄骨天井下地 野縁19形@300 【撤去】
備考	天井点検口:7#製 450角 【撤去】



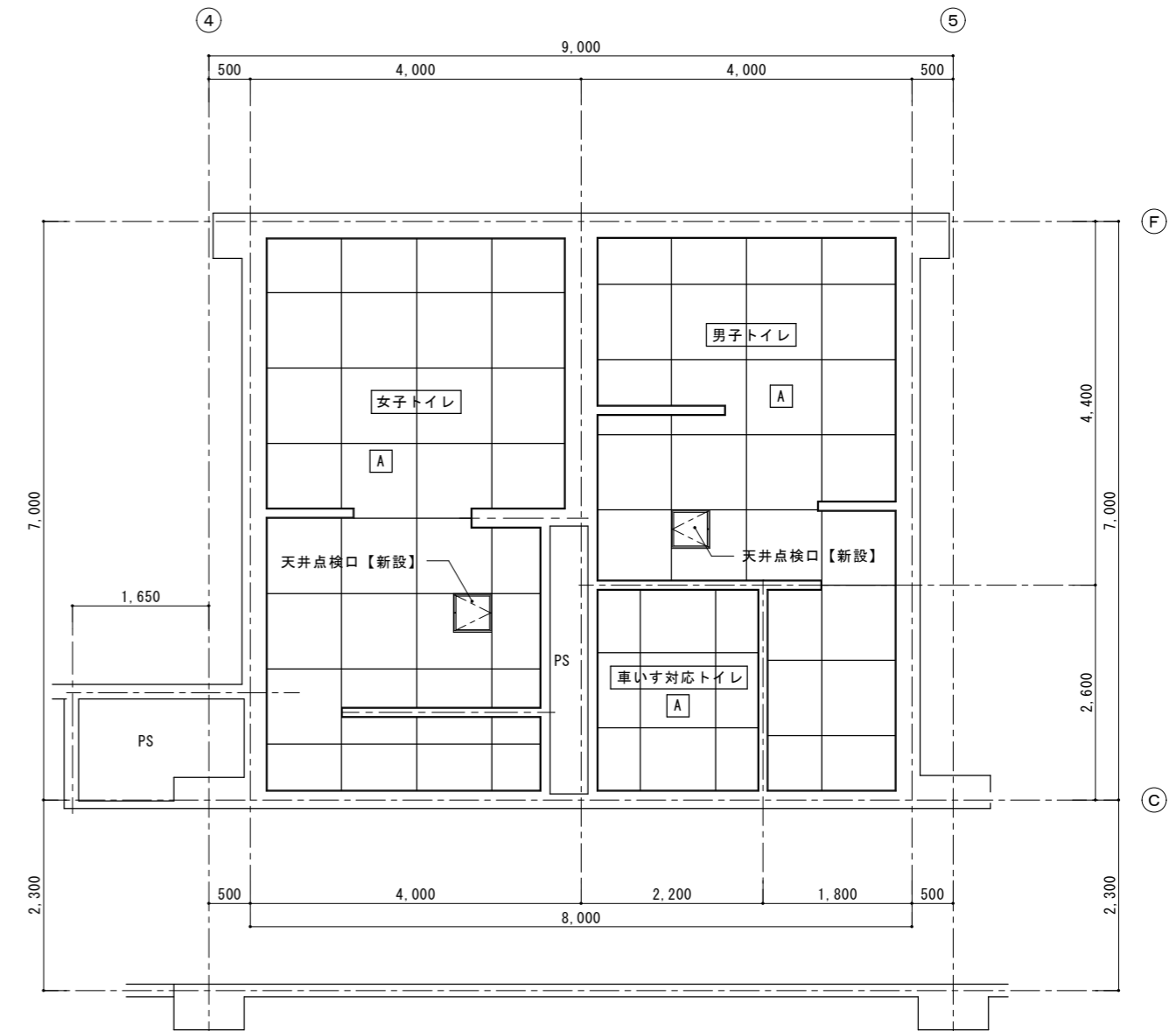
撤去範囲を示す。

天井点検口	男子	女子
	1階	1
2階	3	1
3階	2	1
4階	1	1
計	7	5

天井仕上表	
A	化粧石膏ボード張り 7 9.5 不燃 突付け張り工法 【新設】
	廻縁:塩ビ製 【新設】
	軽量鉄骨天井下地 野縁19形@300 【新設】
備考	天井点検口:7#製縁付 450角 【新設】
	点検口設置位置は打合せによる。

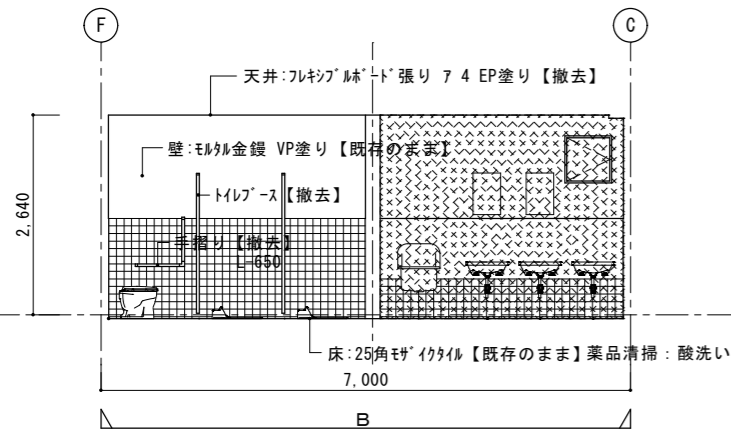
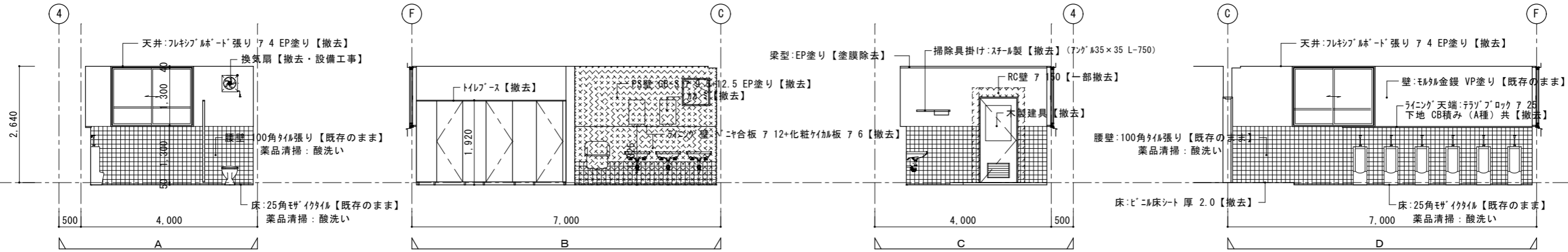


改修前 普通教室棟 (西側) 4階トイレ天井伏図 S=1:40

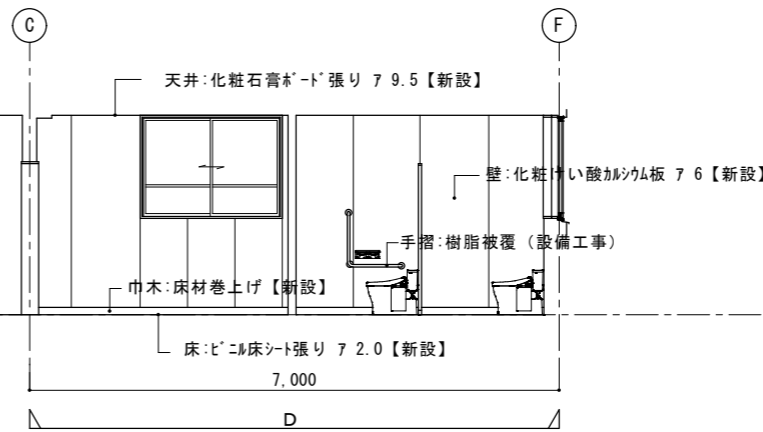
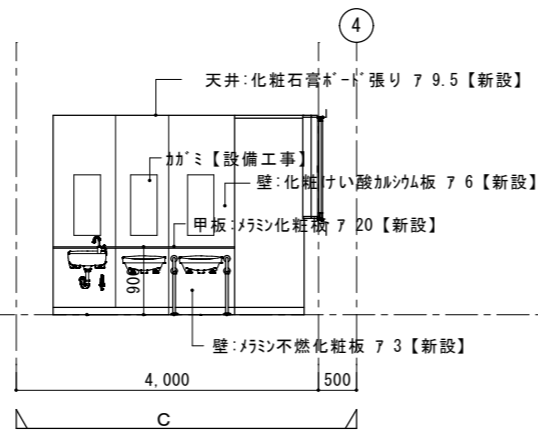
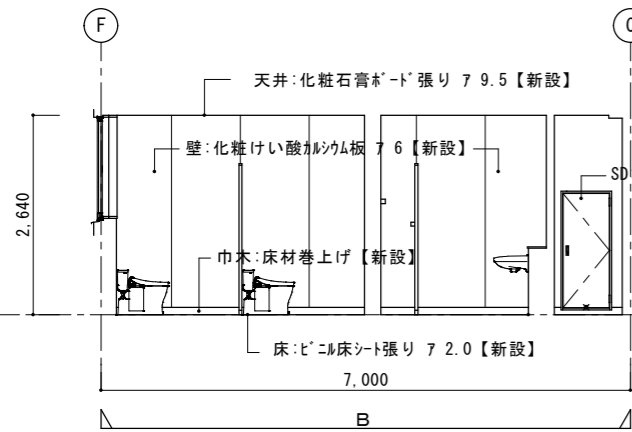
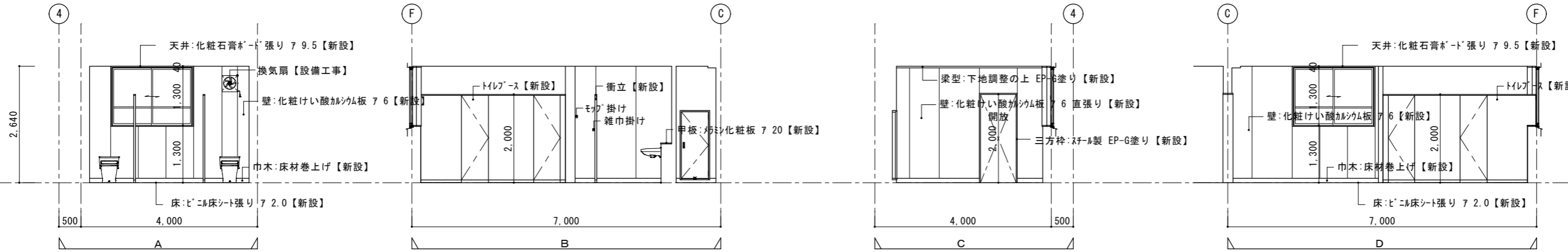


改修後 普通教室棟 (西側) 4階トイレ天井伏図 S=1:40

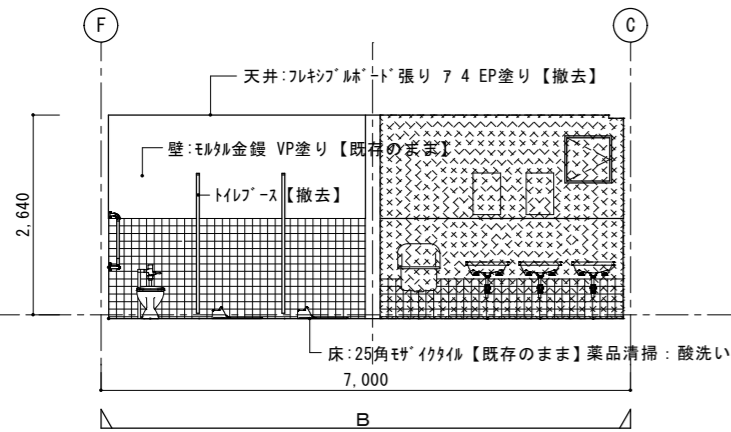
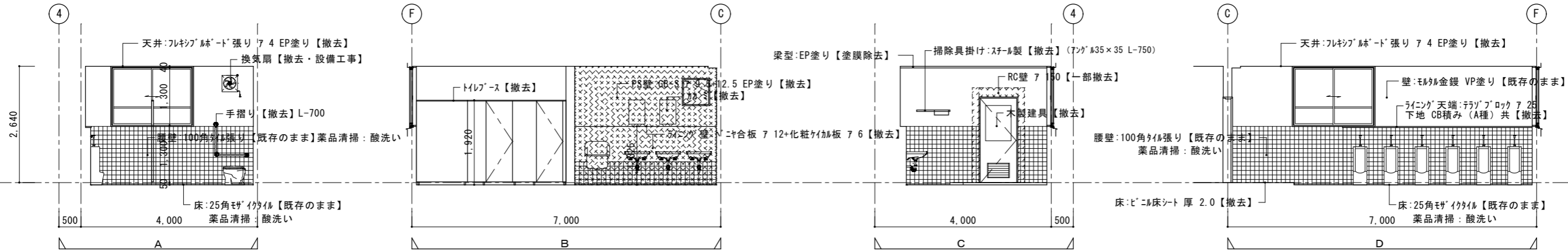
改修前 1階・3階男子トイレ 展開図



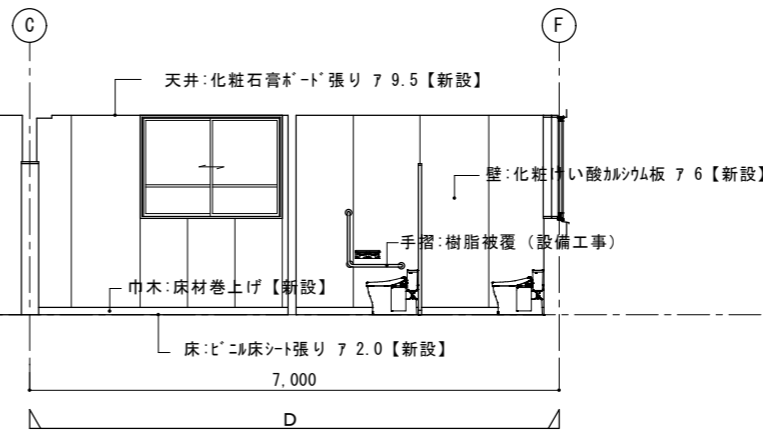
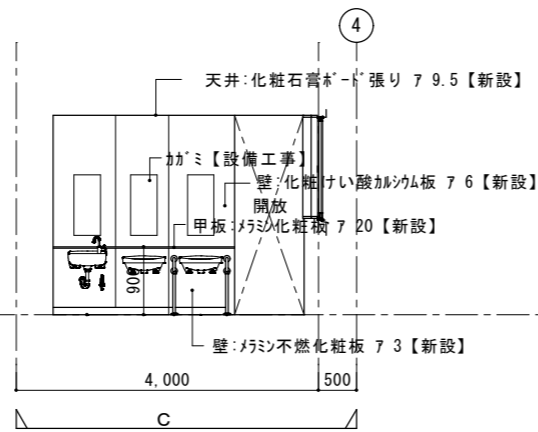
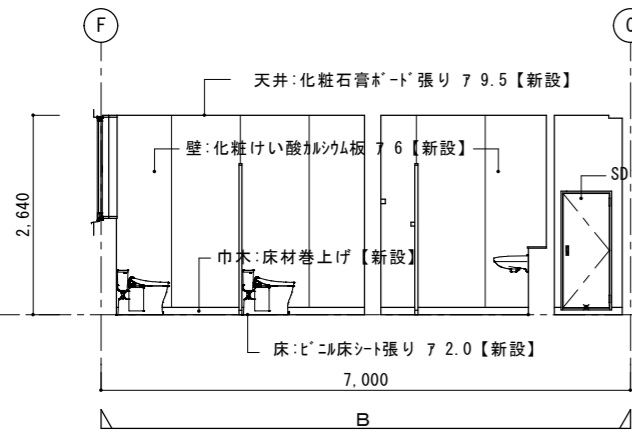
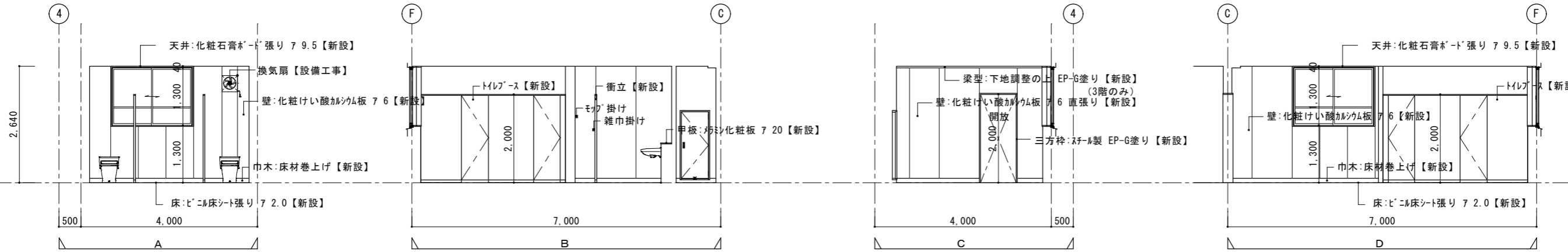
改修後 1階・3階女子トイレ 展開図



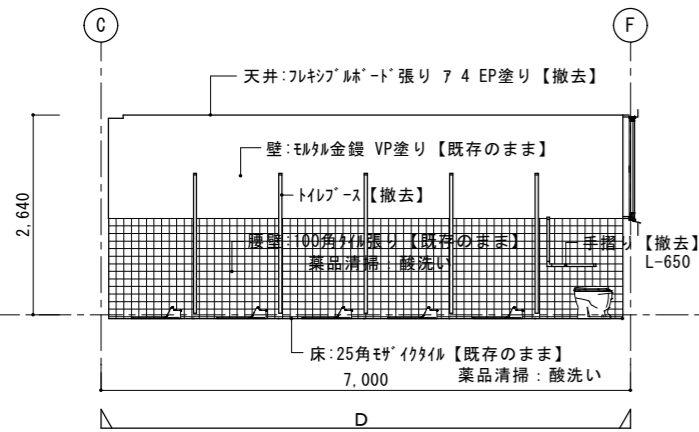
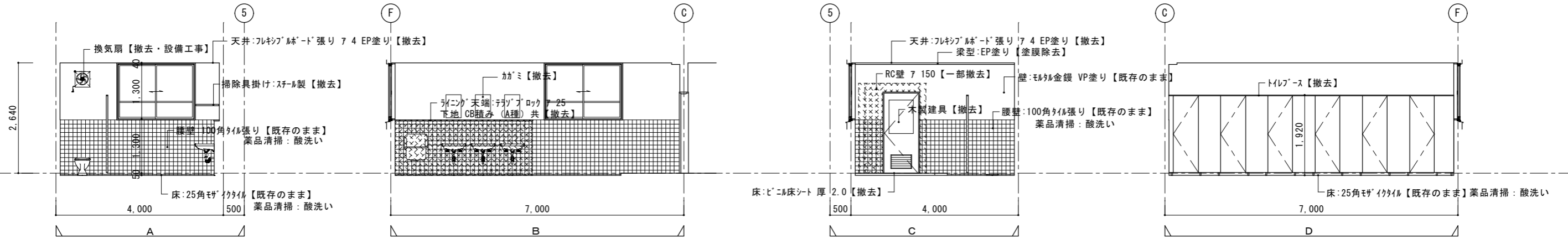
改修前 2階・4階男子トイレ 展開図



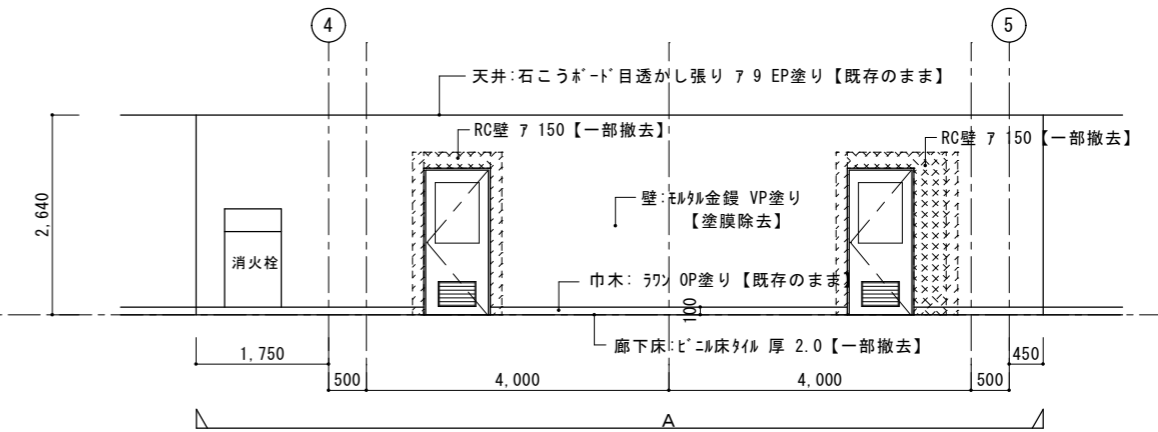
改修後 2階・4階女子トイレ 展開図



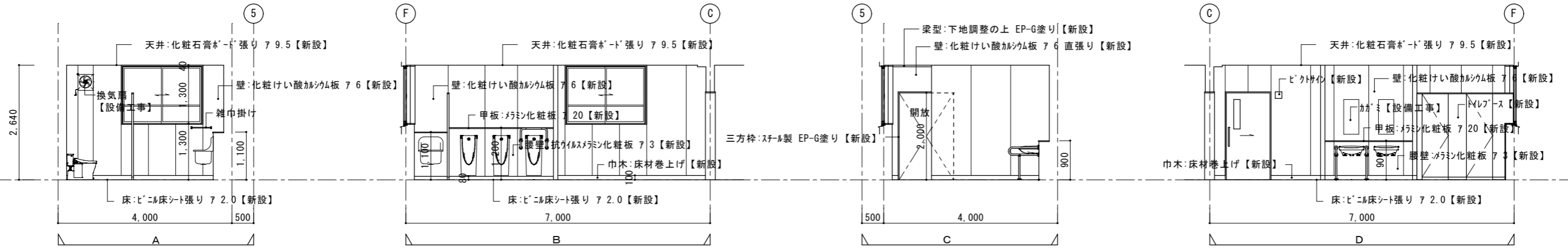
改修前 1階-4階女子トイレ 展開図



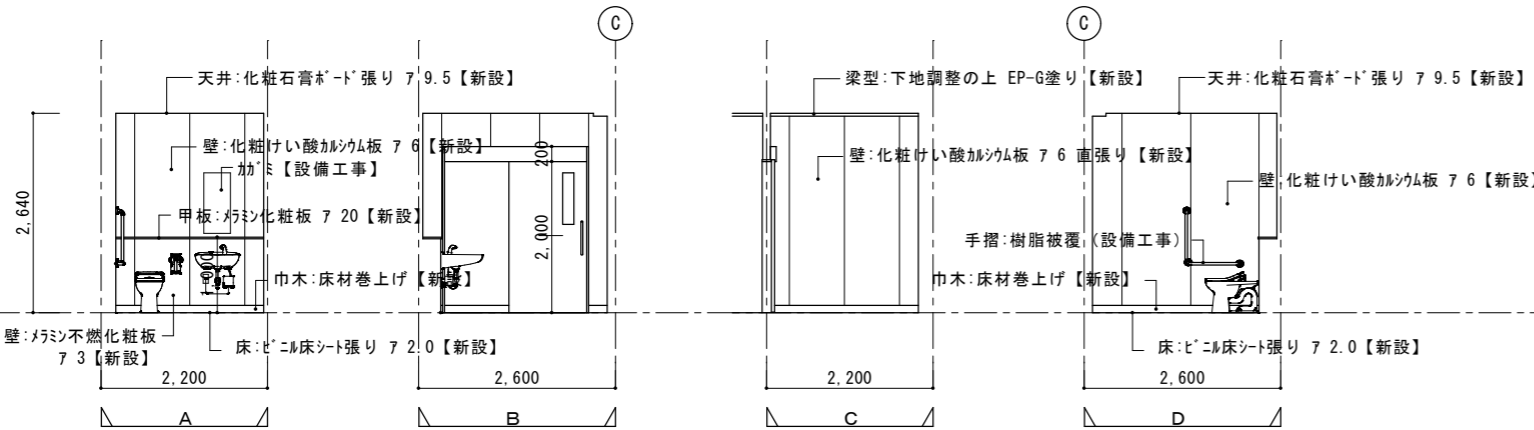
改修前 1階-4階トイレ廻り廊下 展開図



改修後 1階-4階男子トイレ 展開図



改修後 1階-3階車いす対応トイレ 展開図



改修後 1階-4階トイレ廻り廊下 展開図

